

垂水第1遺跡

市道久保垂水線改良工事
に伴う発掘調査報告書

1994

宮崎市教育委員会

序

宮崎市では、リゾート開発、区画整理事業、道路整備事業などが市内のいたる所で行われており、それに伴い埋蔵文化財の発掘調査や石仏・石塔等の歴史的遺物の保護・保存の必要性が強く求められております。その様な状況の中、宮崎市教育委員会では市道久保垂水線の改良工事に伴い、平成5年度に2期に分けてまして宮崎市大字瓜牛野（垂水台地）所在の垂水第1遺跡の埋蔵文化財の発掘調査を行いました。

調査の結果、ナイフ形石器、角錐状石器をはじめとして数多くの石器が出土し、集石などの遺構も検出され旧石器時代の貴重な資料を得ることが出来ました。今回の調査内容は、平成元年に調査された金剛寺原第1、第2遺跡の内容とともに宮崎平野、特に垂水台地における旧石器時代像の解明に役立つものと考えられます。今後、本報告書が学術・研究の一助となり、広く活用いただければ幸いです。

最後に発掘調査にご協力いただきました関係機関、地元の方々、作業員の皆様に心から感謝申し上げます。

平成6年3月

宮崎市教育委員会

教育長 柚木崎 敏

例 言

1. 本書は、市道久保垂水線改良工事に伴い、宮崎市教育委員会が、平成5年5月11日～平成5年7月19日、平成5年10月13日～平成5年12月1日に実施した垂水第1遺跡の発掘調査報告書である。

2. 調査組織

調査主体	宮崎市教育委員会				
調査総括	文化振興課	主事	中山	豪	
庶務		"	井上	治美	
調査員		主事補	岩城	勝志	
		嘱託	日高	広人	
補助員		"	椎	由美子	
		"	久富	なをみ	

3. 本書の執筆は、日高が行った。

4. 掲載図面の実測、製図、図版の作成は中山、岩城、日高、椎、久富が行った。

5. 現場での写真撮影は、中山、岩城、日高が行い、遺物写真は中山が行った。

6. 本書の編集は久富、中山が行った。

7. 本遺跡出土遺物は、宮崎市教育委員会が保管している。

本文目次

第1章 調査の経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の概要	1
第2章 遺跡の概要	3
第1節 遺跡の立地と環境	3
第2節 遺跡の層位と包含層	5
第3章 調査の成果	6
第1節 旧石器時代の遺構・遺物	6
(1) 集石遺構	6
(2) 竪穴状遺構	10
(3) 石器群の出土状況	12
(4) 出土遺物	19
(5) 接合資料	24
第2節 縄文時代の遺物	44
第3節 歴史時代の遺物	44
第4章 まとめ	62

挿 図 目 次

第1図	垂水第1遺跡位置図	2
第2図	垂水第1遺跡調査区	4
第3図	遺構配置図	7
第4図	集石遺構実測図 (1)	8
第5図	集石遺構実測図 (2)	9
第6図	竅穴状遺構実測図	11
第7図	E-2グリッド 出土遺物平面分布図	13
第8図	E-2グリッド 主要石器出土分布図	13
第9図	E-2グリッド ブロック位置図(接合図)	13
第10図	M-1グリッド 出土遺物平面分布図	15
第11図	M-1グリッド 主要石器出土分布図	15
第12図	M-1グリッド ブロック位置図(接合図)	15
第13図	W-10グリッド 出土遺物平面分布図	17
第14図	W-10グリッド 主要石器出土分布図	17
第15図	W-10グリッド ブロック位置図(接合図)	17
第16図	W-11グリッド 出土遺物平面分布図	18
第17図	W-11グリッド 主要石器出土分布図	18
第18図	W-11グリッド ブロック位置図(接合図)	18
第19図	E-2グリッド 出土遺物実測図 (1)	25
第20図	E-2グリッド 出土遺物実測図 (2)	26
第21図	E-2グリッド 出土遺物実測図 (3)	27
第22図	E-2グリッド 出土遺物実測図 (4)	28
第23図	M-1グリッド 出土遺物実測図 (1)	29
第24図	M-1グリッド 出土遺物実測図 (2)	30
第25図	M-1グリッド 出土遺物実測図 (3)	31
第26図	M-1グリッド 出土遺物実測図 (4)	32
第27図	M-1グリッド 出土遺物実測図 (5)	33
第28図	W-10グリッド 出土遺物実測図 (1)	34
第29図	W-10グリッド 出土遺物実測図 (2)	35
第30図	W-11グリッド 出土遺物実測図 (1)	36
第31図	W-11グリッド 出土遺物実測図 (2)	37
第32図	W-11グリッド 出土遺物実測図 (3)	38
第33図	E-1グリッド 出土遺物実測図	39
第34図	W-5・W-9グリッド 出土遺物実測図	40
第35図	接合資料A・C	41
第36図	接合資料B	42
第37図	接合資料D	43
第38図	縄文時代出土遺物実測図 (1)	45
第39図	縄文時代出土遺物実測図 (2)・歴史時代遺物実測図	46

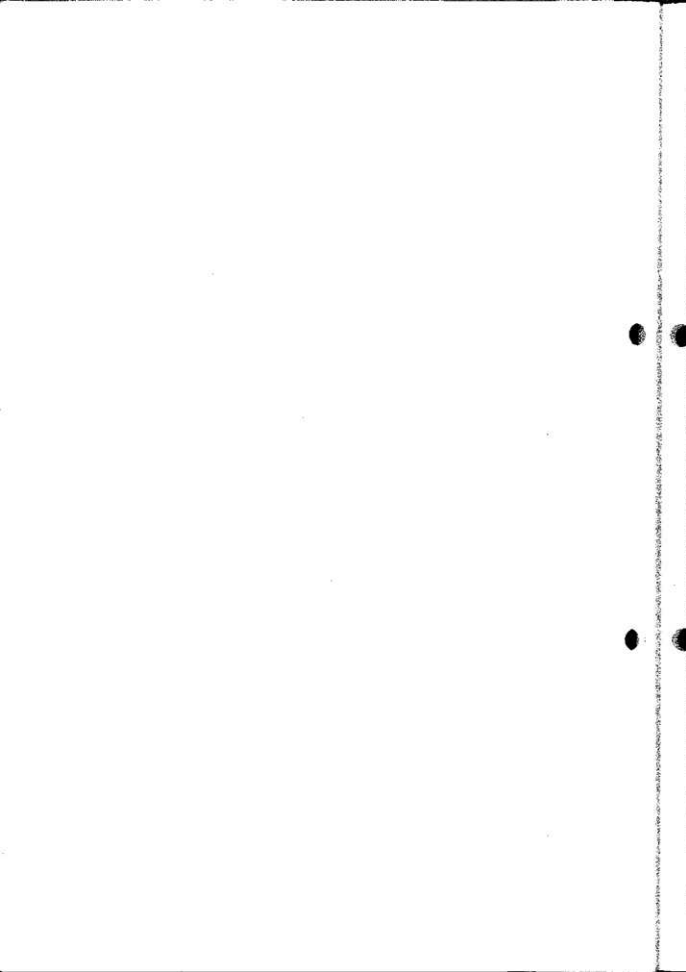
表 目 次

垂水第1遺跡遺物観察表

1.	E-1グリッド	47
2.	E-2グリッド	47
3.	W-9グリッド	51
4.	W-10グリッド	52
5.	W-11グリッド	55
6.	M-1グリッド	55
7.	W-5グリッド	57

図 版 目 次

図版1	垂水第1遺跡調査風景	65
図版2	垂水第1遺跡上層断面	65
図版3	W-1グリッド	65
図版4	W-5グリッド 石鎌出土状況	66
図版5	W-6グリッド 水没風景	66
図版6	E-2グリッド(南側より)	66
図版7	E-2グリッド 石器群出土状況	67
図版8	E-2グリッド ナイフ形石器出土状況	67
図版9	W-10グリッド(南側より)	67
図版10	W-11グリッド(北側より)	68
図版11	W-11グリッド 石器群出土状況	68
図版12	W-11グリッド ナイフ形石器出土状況	68
図版13	M-1グリッド(南側より)	69
図版14	M-1グリッド 石器群出土状況	69
図版15	M-1グリッド 角錐状石器出土状況	69
図版16	M-1グリッド 使用痕剥片出土状況	70
図版17	E-2グリッド 集石遺構検出状況	70
図版18	M-1グリッド 1号集石遺構検出状況	70
図版19	M-1グリッド 2号集石遺構検出状況	71
図版20	M-1グリッド 3号集石遺構検出状況	71
図版21	M-1グリッド 4号集石遺構検出状況	71
図版22	M-1グリッド 5号集石遺構検出状況	72
図版23	M-1グリッド 6号集石遺構検出状況	72
図版24	W-10グリッド 竪穴状遺構検出状況	72
図版25	M-1グリッド 竪穴状遺構検出状況	73
図版26	M-1グリッド 竪穴状遺構断面土層	73
図版27	M-1グリッド 竪穴状遺構断面状況	73
図版28	E-2グリッド 出土遺物	74
図版29	E-2・M-1グリッド 出土遺物	75
図版30	M-1グリッド 出土遺物	76
図版31	M-1・W-10グリッド 出土遺物	77
図版32	W-10・W-11グリッド 出土遺物	78
図版33	W-11・E-1・W-5グリッド 出土遺物	79
図版34	接合資料	80
図版35	編文・歴史時代遺物	81



第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

宮崎市大字瓜生野久保地区から垂水公園に至る市道改良工事に伴い、工事にあたる瓜生野字ソヤノ木原の文化財の有無照会が、宮崎市の土木課から文化振興課に提出された。

文化振興課では、計画工事範囲が周知の遺跡内であること、また、近くには、金剛寺原第1遺跡・第2遺跡、垂水公園遺跡が隣接することから本格的な発掘調査を行うことになり、第一次調査（平成4年5月11日から7月19日）を主事中山豪、主事補岩城勝志、嘱託日高広人が担当し、第二次調査（同年10月13日から12月1日）を主事補岩城勝志、嘱託日高広人が担当し、発掘調査を行った。

第2節 調査の概要

本遺跡調査は、市道久保・垂水線改良工事に伴う事前発掘調査であった為、調査区の設定が道路幅内のみと制約されたものとなった。

調査対象区は、市道を挟み東西に畑地がある。畑地は段々畑になっており西側の畑地南側は調査対象区中頃まで市道より一段高くなり、北方向に進むにつれて下がっていく。一方、東側の畑地は一部を除き市道より低くなっており、最も低いところは約2m削られている所もある。従って西側畑地が比較的残りが良いと思われた為、第一次調査ではグリッドを設定し、西側畑地をW列とし、南北方向に北から1～6グリッドを設けた。また、東側畑地をE列とし、あまり削平を受けていない、まわりより一段高い畑地を南北方向に北から1～2グリッドと設けた。

W-1グリッドでは、表土を剥がし、約2.0m下の茶褐色土層（Ⅱ層）中より、平安から奈良時代ごろの土師器片が出土した。更に、約0.3m掘り下げたところで、アカホヤ層（Ⅲ層）にあたる。黒色土層（Ⅳ層）、暗褐色土層（Ⅴa層）を経て約1.3m掘り下げた明褐色土層（Ⅴb層）中で多数の礫に伴って剥片3点、原石1点が検出された。

しかし、たび重なる大雨の為に水没し、ポンプによる水の汲み出しを繰り返した行だったが、深さが約3.5mもあり、隣接する市道が崩れ落ちる危険性が出てきた為、遺物を数点取り上げただけで、埋め戻しを行った。

W-2グリッドからW-4グリッドおよびW-6グリッドまでは、焼礫が数点見られるのみで、遺物、遺構を検出することができなかった。

W-5グリッドでは、1.8m掘り下げた明褐色土層（Ⅴb層）中より、点在した数点の焼礫に伴って石錐が1点検出された。

E-1グリッドでは、明褐色土層（Ⅴb層）中より、集石遺構1基とスクレイパー1点、石核1点、使用痕剥片3点、剥片1点、台石2点が検出された。

E-2グリッドでは、暗褐色土層（Ⅴa層）中より土器片1点、石錐2点、尖頭器1点及び磨石1点が検出されたが、ナイフ形石器、角錐状石器等の旧石器時代の遺物と混在した状況にあった。また、中央部には掘り込みが見られ、溝状遺構とも考えられるが、四方八方に木の根のように入り込んでいた為、攪乱と考えられる。



- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 金剛寺原第1遺跡 | 3. 垂水公園遺跡 |
| 2. 金剛寺原第2遺跡 | 4. 垂水第1遺跡 |

第1圖 垂水第1遺跡位置圖 (1 : 2,500)

なお、明褐色土層（Vb層）から明黄褐色土層（VI層）にかけて散乱した焼礫および、ナイフ形石器、角錐状石器、石核、スクレイパー、台石等の遺物を検出した。

第二次調査ではW列を7～11グリッドまで設定した。

W-7、W-8グリッドは、焼礫が数点存在するのみで、遺物、遺構の検出はされなかった。

W-9グリッドでは、明褐色土層（Vb層）中より焼礫が数点と使用痕剥片6点、剥片4点計10点が検出された。

W-10グリッドでは、北面に黒色土層（IV層）が残っており、暗褐色土層（Va層）中より人頭大等の礫群に伴って石鏃1点、磨石1点が検出された。また、明褐色土層（Vb層）から明黄褐色土層（VI層）にかけて多数の焼礫に伴って、ナイフ形石器、角錐状石器、剥片尖頭器、スクレイパー等が検出された。なお、明褐色土層（Vb層）中より竪穴状遺構1基が検出された。

W-11グリッドは、北面東側の一部に黒色土層（IV層）が残っており暗褐色土層（Va層）中より土器片16点が検出されたが、ナイフ形石器等、旧石器時代の遺物が混在した状況であった。明褐色土層（Vb層）から明黄褐色土層（VI層）にかけて、中央部に散乱した焼礫が見られ、それに伴い、ナイフ形石器、角錐状石器、石鏃等が集中して検出された。

また、市道をM列とし、第一次調査でE-2グリッドに遺物が集中していたこと、さらにW-10、W-11グリッドも遺物が集中していたことから、これらのグリッドに隣接する所をM-1グリッドと設定した。

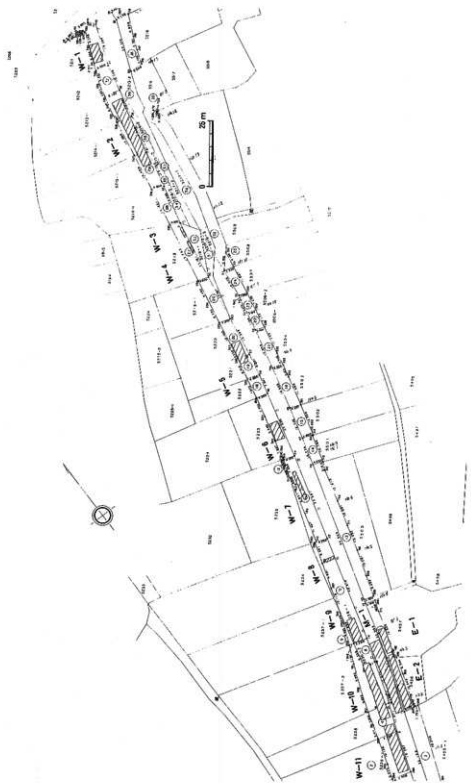
M-1グリッドは、市道の下ということもあり、暗褐色土層（Va層）まで削平されていたが、明褐色土層（Vb層）から明黄褐色土層（VI層）にかけて集石遺構6基、竪穴状遺構1基とナイフ形石器、角錐状石器、剥片尖頭器、スクレイパー等が検出された。

第2章 遺跡の概要

第1節 遺跡の立地と環境

垂水地区は、ナイフ形石器が表採された事で遺跡の存在が確認された垂水公園遺跡のある、最高標高が120.5mになる山塊から宮崎平野と大淀川左岸に向かって幾つかに分かれて突き出す舌状台地のちょうど付け根部分、傾斜の緩やかな、開けた平坦面をもつ洪積台地上に位置している。

垂水第1遺跡は、久保地区から垂水公園に通じる市道に沿った畑地に立地しており、周辺では西にナイフ形石器、スクレイパー等の旧石器時代の遺物が出土した金剛寺原第1遺跡、金剛寺原第2遺跡が隣接している。北は、瓜生野大池の南側に入り込む開析した谷へと落ち込んでいく。さらに北上すると、昭和45年、別府大学が発掘調査した、宮崎県内における旧石器時代研究の第一歩ともなり、船野型細石核で知られる船野遺跡（宮崎郡佐土原町）がある。また、南へと突き出す舌状台地、丘陵の先端部には、縄文時代前期の柏田貝塚があり、丘陵の東傾斜面及び南々東に突き出し、宮崎城が所在した舌状台地西側には、県指定の瓜生野村古墳が広がっている。



第2圖 垂水第1通跡調査区

第2節 遺跡の層位と包含層

【垂水第1遺跡 基本土層】

	V V V V V V		
	I	I 層	黒褐色土層 現耕作土である。(約20cm)
	II	II 層	茶褐色土層 (約14cm)
	III	III 層	明褐色土層 アカホヤの二次堆積層と思われる。(約10~16cm)
0.5	IV	IV 層	黒色土層 やや固く少し粘り気がある。(約20cm)
	Va	Va層	暗褐色土層 IV層~V層の漸位層、固くしまっており、暗褐色ブロック混入が多い。(約20cm)
1.0	Vb	Vb層	明褐色土層 ブロックを少し含み、少し粘り気がある。 旧石器時代遺物包含層(約40cm)
1.5	VI	VI 層	明黄褐色土層 旧石器時代遺物包含層で粘質が強く水気を含む。 下部に砂岩含む。(約20~40cm)
	VII	VII 層	褐色硬質砂岩層

本遺跡の遺物包含層はVb層からVI層上部にかけての約50cmである。

現地形では、北方向と東方向に緩やかに傾斜しているが、台地上にある為、遺物包含層であるV層以降の傾斜が著しく、南北では、現地形を平坦にする為に運ばれたと思われる客土が、W-1グリッドでは約2.6m、W-3グリッドでは、約0.7m、W-8区グリッドでは約1.2m、W-1グリッドの南面では0.7mと堆積しており、旧地形では、かなり起伏が激しかったものと思われる。東西では、東方向に傾斜している。

また、調査区南側では、Va層上部までほとんど削平を受けており、Va層が残っているのは、E-2グリッド、W-10グリッド、W-11グリッドの一部分のみであった。Va層では、土器片や石鏃など縄文早期の遺物等が出土しており、縄文早期の遺物包含層と思われるが、ナイフ形石器、角錐状石器等の旧石器時代の遺物の混入が見られた。M-1グリッドは、市道の下ということもありVa層まで削平されていた。

第3章 調査の成果

第1節 旧石器時代の遺構・遺物

(1) 集石遺構

集石遺構は、7基検出した。内訳はE-1区に1基、M-1区に6基である。

【E-1グリッド】

〔1号集石遺構〕

1号集石遺構はE-1グリッド北壁中央に位置し、直径約60cmの範囲内に90個ほどの完形礫、破損礫を含む焼礫が平面的に密集している。周辺には20数個の散石が見られる。礫は赤化現象が著しい。また、扁平な破損礫が見られ、接合可能な礫が目立つ。掘り込み等の土壌や基底部施設等は見られなかった。焼土、炭化物等は検出されなかった。

【M-1グリッド】

〔1号集石遺構〕

1号集石遺構はM-1グリッドの中央の東壁寄りに位置し、Vb層下部から検出されている。直径約50cmの範囲内に人頭大の礫を数個含む20数個の焼礫が平面的に密集している。全ての礫に赤化現象が見られ、破損礫も見られる。周囲では3号集石が北に隣接し、ナイフ形石器、スクレイパー、剥片等の石器が散乱している。焼土、炭化物等は検出されなかった。

〔2号集石遺構〕

2号集石遺構はM-1グリッドの中央南の西壁すみ、1号集石遺構からは北々西に約4mの所に位置し、Vb層下部から検出されている。直径30cmの範囲内に10数個の焼礫が平面的に密集している。遺構南面は赤化現象が著しく、破損礫も見られる。床面は若干の窪みがあり炭化物が少量見られた。周辺には、ナイフ形石器、使用痕剥片が散乱している。

〔3号集石遺構〕

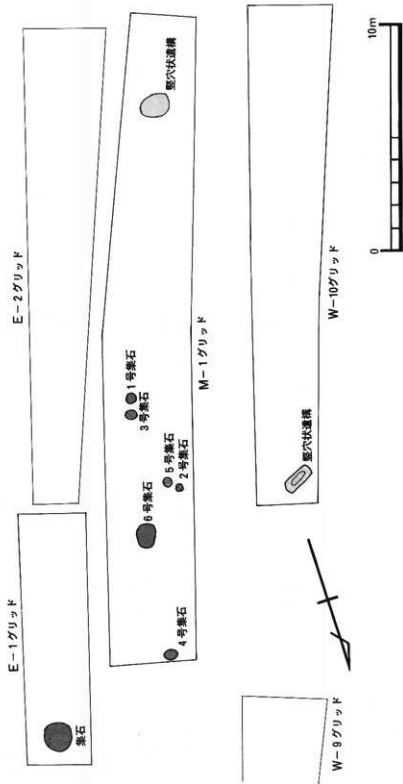
3号集石遺構はM-1グリッド中央の東壁寄りに位置し、1号集石遺構から北に30cmの所に位置する。VI層から検出され、約20×30cmの範囲内に10数個の焼礫が平面的に密集している。床面は若干窪みがある。周辺には使用痕剥片、剥片等が散乱し、赤化現象を起こしている散石も見られる。

〔4号集石遺構〕

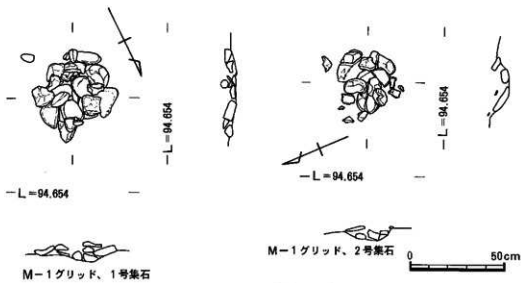
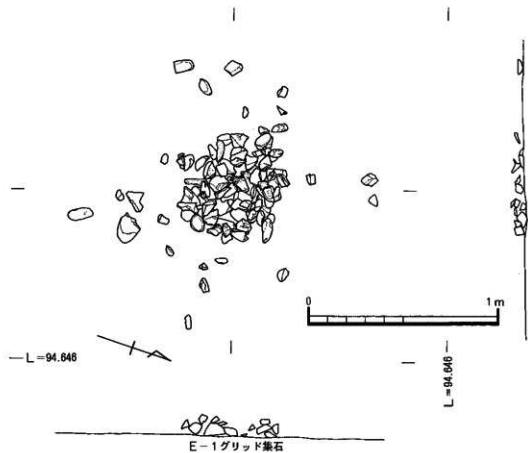
4号集石遺構は北壁西寄りに位置し、VI層から検出されている。約40×50cmの範囲内に人頭大や拳大の礫、20数個の淡い赤褐色の焼礫が平面的にやや密集している。周辺には西方向に10数個の散石が見られる。

〔5号集石遺構〕

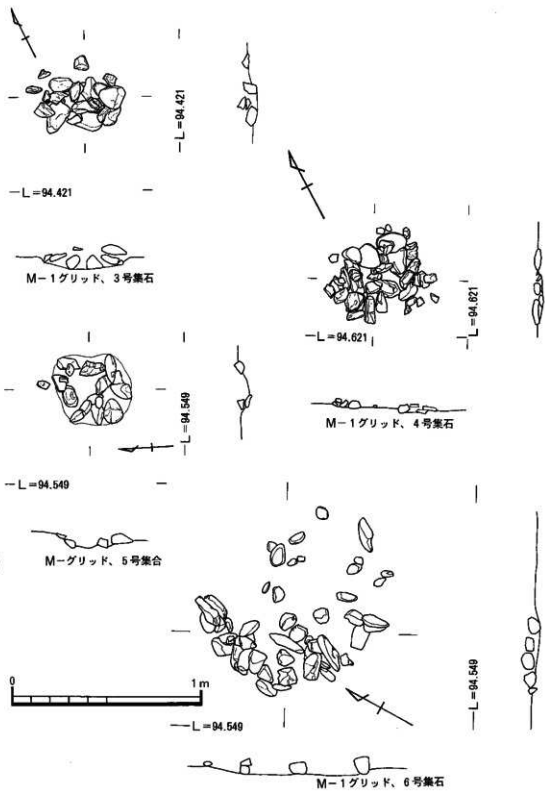
5号集石遺構は中央南の西壁寄りに位置し、2号集石遺構から南東に約30cmの位置にある。VI層から検出されており、直径約40cmの範囲内に拳大から拳大より小さい円礫、角礫、15個の焼礫が輪を描くように置かれている。礫は、赤化現象が著しく破損したものやひびが入った礫も見られる。床面には若干の窪みがある。周囲に拳大ほどの焼礫数10個が散乱している。



第3図 遺構配置図



第4図 集石遺構実測図(1)



第5図 集石遺構実測図(2)

〔6号集石遺構〕

6号集石遺構は北面中央に位置し、5号集石遺構から北東に1.7mの位置にある。VI層から検出されており、約100×110cmの範囲内に収まり、人頭大から拳より小さい円礫や角礫等40数個から構成されている。床面には若干の窪みがあり、少量ではあるが、炭化物が見られる。西半分は比較的まとまっているが、東半分はばらけている。礫は、赤化現象が見られ、破損している礫も見られる。周囲には拳大から拳大より小さい円礫が散らばっている。

(2) 竪穴状遺構

竪穴状遺構は、2基検出した。内訳は、W-10グリッドに1基、M-1グリッドに1基である。

【W-10グリッド】

〔1号竪穴状遺構〕

1号竪穴状遺構は、W-10グリッド北壁から約50cm、西壁北面から約30cmに位置し、Vb層で検出された。縦横1.42×0.61m、深さ1.37m、床面縦横0.80×0.14mの楕円形プランを呈している。

埋土は遺構上部から約3分の2までは暗茶褐色土がみられ、遺構下部ではにぶい淡茶褐色ロームがみられる。

遺物は、遺構上部において、4点出土し、細石刃1点、剥片3点が流れ込みによるものと思われる。杭穴は検出されなかったが、おとし穴の可能性はある。

【M-1グリッド】

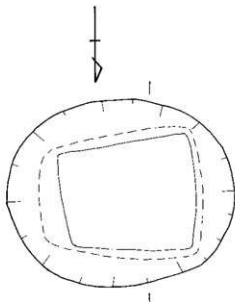
〔1号竪穴状遺構〕

1号竪穴状遺構は、M-1グリッド南壁中央から約3.1mに位置し、Vb層で検出された。平面上は直径92cmの円形で、深さは1.52mである。断面はフラスコ状になっており、深さ約40cmのところまで内にくびれ、縦横が66×56cmの楕円形である。床面は縦横が66cmの方形である。杭穴は検出されなかった。

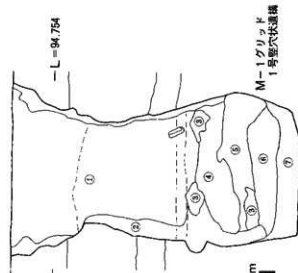
この遺構は、東北地方で縄文時代に多く見られる大型の貯蔵穴に類似している。しかし、遺構内で炭化した堅果類等が検出されなかったことや、九州ではこのような大型の貯蔵穴が見られないことから、貯蔵穴である可能性は薄いと思われる。むしろおとし穴と考える方が妥当ではないかと思われる。

(埋土)

- | | | |
|----|---------|-------------------------------|
| ①層 | 暗茶褐色土層 | 固く締まっており、ボラを含む。 |
| ②層 | 淡茶褐色土層 | 柔らかく、白色粒子を含む。 |
| ③層 | 黄褐色土層 | サラサラとして柔らかく、白色粒子を含む。火山灰? |
| ④層 | 暗茶褐色土層 | 固く締まっており、ボラを含む。水気を含み、やや粘質である。 |
| ⑤層 | 暗茶褐色土層 | ④層に類似するが、水気を含み、やや粘質である。 |
| ⑥層 | 黒褐色土層 | 固く締まっている。水気を含み、やや粘質である。 |
| ⑦層 | 茶褐色ローム層 | 水気を含み、粘質が強い。 |



—L=94.788



—L=94.754

M-1グリッド
1号整穴状遺構



W-10グリッド
1号整穴状遺構

第6図 整穴状遺構実測図

(3) 石器群の出土状況 *主要石器出土分布図は、グリッド番号によるものである。

垂水第1遺跡の調査において、旧石器時代の遺物は、約777点出土しており、主に調査区南側(E-2、M-1、W-10、W-11グリッド)に集中している。

これらの石器群はまとめて出土しており、焼礫群の分布とはほぼ同一の分布が見られるものも認められた。これらのまとまりに、接合資料を加味しながらブロックの設定を行うと12のブロックに分けることができる。

【E-2グリッド】

E-2グリッドでは、255点の遺物が出土しており、3つのブロックに分けることができる。

〔第1ブロック〕

E-2グリッドの北壁から約2mの位置に長径3.0m、短径2.5mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。焼礫群は、ほぼ全面に広がり、散乱しているが、北に向かうにつれてややまとまる傾向にある。焼礫を伴う包含層は、約25~30cmである。

このブロックは、ナイフ形石器2点、角錐状石器3点、敲石1点、石核1点、台石1点、二次加工剥片2点、使用痕剥片17点、剥片27点で構成され、破片も多く見られた。VI層は、ナイフ形石器1点、角錐状石器1点、敲石1点、二次加工剥片2点、使用痕剥片4点、剥片26点である。またここでは、台石、原石から製品までが見られることから、石器製作の過程をうかがい知ることができる。

〔第2ブロック〕

南壁から5mの位置に、長径6.0m、短径3.0mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。

焼礫群は、ブロック北平面にややまとまる状況にあり、厚い。南方向に向かうにつれて薄く散乱していく。焼礫を伴う包含層は35~40cmである。第1ブロックとの境は明確ではないが、接合資料からブロックを設定した。

このブロックは、ナイフ形石器8点、角錐状石器3点、スクレイパー4点、石核6点、敲石1点、二次加工剥片4点、使用痕剥片30点、剥片37点で構成され、破片も多く見られる。そのうちVI層では、使用痕剥片5点、剥片3点である。接合資料は、8例あり、ブロック外では1例ある。またここでは台石、原石等から製品まで出土しており、接合する剥片も多いことから、石器製作の過程をうかがい知ることができる。

〔第3ブロック〕

第2ブロックの南に接し、E-2グリッドの南壁から北方向に約1mの位置に長径3.6m、短径3.0mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。焼礫群は全体に散乱しており、西に向かうほど薄くなる傾向にある。焼礫を伴う包含層は、20~30cmである。

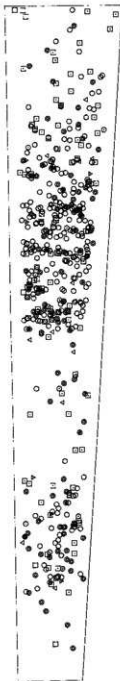
このブロックは、ナイフ形石器1点、台石2点、使用痕剥片22点、剥片11点からなり、破片も多く見られた。VI層では、ナイフ形石器1点、使用痕剥片14点、剥片5点である。接合資料は2例あり、うち1例はブロック外にある。

【M-1グリッド】

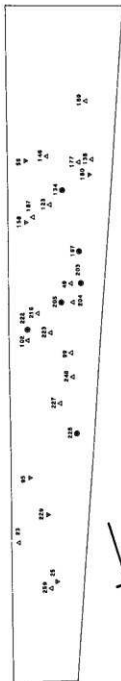
M-1グリッドは262点の遺物が出土しており、4つのブロックに分けることができる。

石器凡例

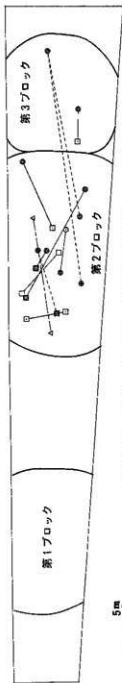
- △ ナイフ形石器
- ▽ 角錐状石器
- ◇ 剥片尖頭器
- ◎ スクレイバー
- 出 石錐
- ① 燧石
- ⊗ 石核
- ┌ 台石
- 二次加工剥片
- 使用痕剥片
- 剥片
- 砕片
- ▽ 不明石器
- ◎ 原石



第7図 E-2グリッド 出土遺物平面分布図



第8図 E-2グリッド 主要石器出土分布図



第9図 E-2グリッド ブロック位置図 (接合図)



〔第4ブロック〕

M-1グリッドの北壁から約2.8mの位置に長径3.5m、短径3.0mの範囲にまとまるブロックで、焼礫群ブロック南側に第6集石遺構が位置し、北にいくにつれて散乱し、希薄になる状況である。焼礫を伴う包含層は約20cmである。

このブロックは、ナイフ形石器2点、敲石1点、二次加工剥片1点、使用痕剥片7点、剥片7点で構成されている。また、碎片も見られる。なお、VI層では敲石1点、二次加工剥片1点、使用痕剥片4点、剥片2点である。

〔第5ブロック〕

第4ブロックの南に接し長径3.0m、短径2.8mの範囲にまとまるブロックである。焼礫群はブロック東側に第2号集石、第5号集石遺構が位置し、ブロックの全体に散石が見られる。焼礫を伴う包含層は約25～30cmになる。

このブロックは、ナイフ形石器4点、スクレイパー1点、使用痕剥片6点、剥片6点で構成されている。また、碎片も見られる。VI層では剥片1点である。

〔第6ブロック〕

第5ブロックの南に接し、長径5.0m、短径3.5mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。焼礫群はブロック中央北寄りに第1号集石、第3号集石が位置し、全体にわたって焼礫が散乱している。焼礫を伴う包含層は、20～30cmの厚さをもつ。

このブロックは、ナイフ形石器2点、角錐状石器1点、剥片尖頭器1点、スクレイパー5点、石核3点、二次加工剥片2点、使用痕剥片20点、剥片33点で構成されている。また碎片も多く見られる。VI層ではスクレイパー4点、二次加工剥片1点、使用痕剥片6点、剥片9点である。接合資料は6例あり、そのうちブロック外との接合は2例ある。ブロック外のVb層の剥片とVI層の剥片との接合例が1例ある。また、VI層内では1例あり、石核と使用痕剥片との接合である。

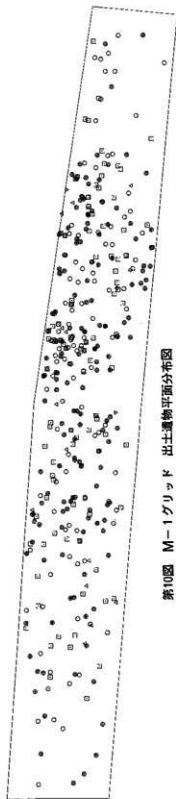
〔第7ブロック〕

南側から北方向へ5mの位置にあり、第6ブロックと接し、長径9.0m、短径3.6mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。焼礫群はブロック全面に分布するが、西壁側にややまとまりを見せ、東方向にいくにつれて散乱し、ばらける状況にある。焼礫を伴う包含層は、50cmと厚い。

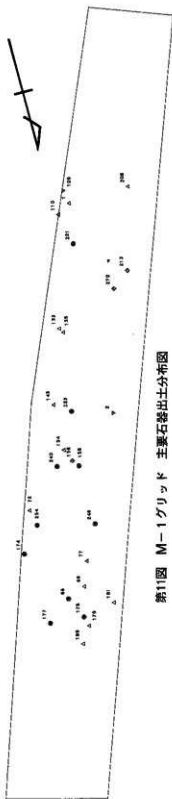
このブロックは、ナイフ形石器5点、角錐状石器1点、剥片尖頭器2点、スクレイパー1点、石核8点、台石3点、使用痕剥片34点、剥片74点で構成されている。また碎片も多く見られる。VI層ではナイフ形石器1点、剥片尖頭器2点、スクレイパー1点、石核1点、使用痕剥片10点、剥片14点である。接合資料は7例あり、ブロック外との接合は4例ある。VI層の接合は1例あり、剥片と使用痕剥片の接合である。また、原石もあり、石器製作の過程をうかがい知ることができる。

〔W-10グリッド〕

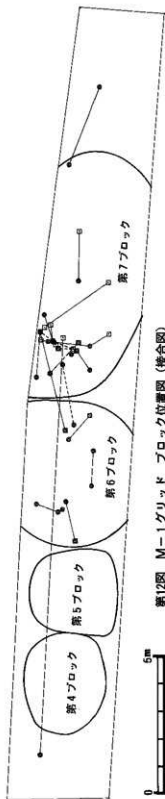
W-10グリッドでは、157点の遺物が出土しており、3つのブロックに分けることができる。



第10図 M-1グリッド 出土遺物平面分布図



第11図 M-1グリッド 主要石器出土分布図



第12図 M-1グリッド ブロック位置図 (接合図)

〔第8ブロック〕

W-10グリッド中央から北面にかけて広がるブロックで、長径7.0m、短径2.5mの範囲内にまとまるが、東方向に延びる可能性がある。焼礫群はブロック範囲内に広がり、ブロック北面はやままとまりがあり、南にいくにつれて散乱し、ばらける状況にある。焼礫を伴う包含層は、北面が35~40cm、南面は約20cmになる。

このブロックは、ナイフ形石器1点、角錐状石器1点、剥片尖頭器4点、スクレイパー1点、石核1点、敲石1点、使用痕剥片7点、剥片19点で構成されている。剥片が半数以上占めており、全面に広がっている。また、碎片も見られた。なお、VI層では、ナイフ形石器1点、剥片尖頭器3点、使用痕剥片1点、剥片11点が出土している。接合資料は見られなかった。

〔第9ブロック〕

第8ブロックから南方向へ約2mの位置から南に広がるブロックで、長径5.5m、短径2.7mの範囲内にまとまるブロックである。焼礫の分布はほとんど見られなかった。

このブロックは、ナイフ形石器4点、剥片尖頭器1点、スクレイパー5点、使用痕剥片20点、剥片12点で構成されている。うちVI層は、剥片尖頭器1点、スクレイパー1点、使用痕剥片6点、剥片4点である。碎片も多く見られた。また、剥片は、ほとんど、南半面にまとまって出土している。接合資料は3例あり、Vb層とVI層上部との接合例は2例で、スクレイパーと使用痕剥片、使用痕剥片と使用痕剥片の接合である。

〔第10ブロック〕

第9ブロックの南に接し、W-10グリッドでは、長径約4m、短径約3.5mの範囲であるが、W-11グリッドとの接合例もあり長径約8m、短径約3.5mの範囲になる。東西に延びる可能性がある。焼礫群は全範囲に広がり、まとまりがなく散乱した状況にある。焼礫を伴う包含層は、約35~45cmの厚さをもつ。

このブロックは、ナイフ形石器1点、石核3点、台石1点、使用痕剥片14点、剥片41点で構成されており、特に剥片が半数以上を占めている。また、碎片も多く見られた。うちVI層では、ナイフ形石器1点、使用痕剥片1点、剥片7点が出土した。接合資料は5例あり、Vb層とVI層との接合例は1例で、剥片と剥片の接合である。

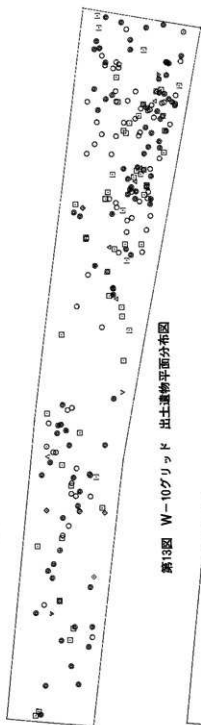
【W-11グリッド】

W-11グリッドは、84点の遺物が出土しており2つのブロックに分けることができる。

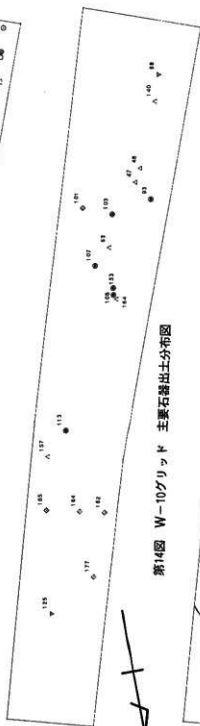
〔第11ブロック〕

W-11グリッドの中央に位置し、長径約7m、短径約3.3mの範囲であるが、東西に延びる可能性がある。焼礫群は希薄でまとまりがない。

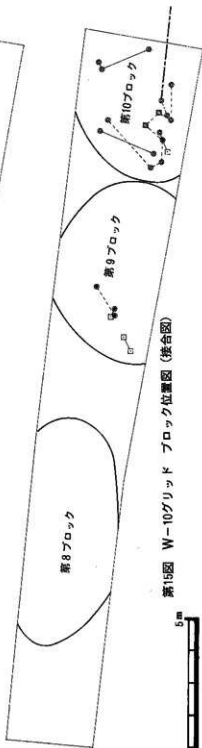
このブロックは、ナイフ形石器4点、角錐状石器4点、スクレイパー1点、石錐2点、不明石器1点、敲石1点、二次加工剥片2点、使用痕剥片14点、剥片8点で構成されており、VI層では二次加工剥片1点、剥片2点である。接合資料は1例である。製品のほとんどが、ブロック中央に集中している。また、碎片は南に集中する状況にある。



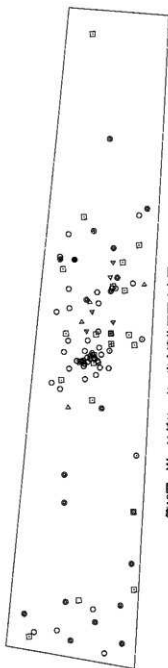
第13図 W-10グリッド 出土遺物平面分布図



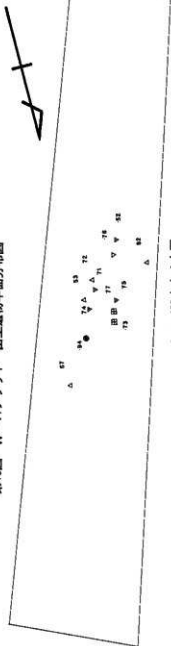
第14図 W-10グリッド 主要石器出土分布図



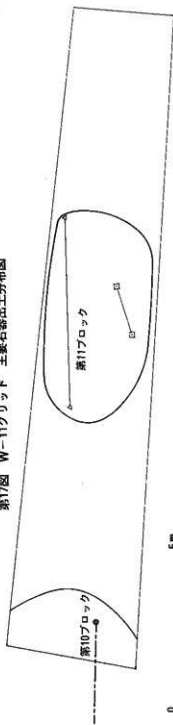
第15図 W-10グリッド ブロック位置図 (接合図)



第16図 W-11グリッド 出土遺物平面分布図



第17図 W-11グリッド 主要石器出土分布図



第18図 W-11グリッド ブロック位置図 (接合図)

(4) 出土遺物

【E-2 グリッド】

○ナイフ形石器は16点出土している。(第19図・第20図)

(1)～(9)は一侧縁加工のナイフ形石器である。

(1)は幅広で厚みのある剥片を素材とし、右側縁部に主要剥離面及び背面からブラントニング加工を施している。

(2)は、幅広の剥片を素材とし、左側縁部にブラントニング加工を施している。

(3)は、幅広の剥片を素材とし、左側縁部に主要剥離面及び背面からブラントニング加工が施されている。砂岩製で風化が激しく、もろくなっており、加工面がかろうじて見られる。下部は欠損している。

(4)(5)(6)(7)(8)(9)は横長剥片を素材とし打面方向にブラントニング加工が施されている。

(4)(7)は下部が、(9)は上部が欠損している。(7)(8)(9)はいわゆる「国府型ナイフ」に類似する。(6)は、縦長剥片を素材とし、左側縁部に主要剥離面よりブラントニング加工が施されているが、下部は欠損している。

(10)(11)は、二側縁加工のナイフ形石器である。

(10)は、縦長剥片を素材とし、両側縁部に主要剥離面よりブラントニング加工が施されている。また、基部の裏面に加工が施されている。

(11)は二側縁加工のナイフ形石器で左側縁部は主要剥離面及び背面からブラントニング加工が施されている。また、左側縁部は主要剥離面よりブラントニング加工が施されている。

(12)(13)は、いわゆる切り出し形ナイフ形石器で、幅広の剥片を素材とし、一侧縁部にブラントニング加工を施し、背面からの打撃によりもう一侧縁に基部を作り出している。(13)の右側等の中央にあるへこみは、加工を施すときにアクシデントによりへこんだものと思われる。

○角錐状石器は6点出土している。(第20図)

(14)は横長剥片を素材とし、右側縁部及び背面に加工が施されている。ナイフ形石器の可能性もある。

(15)(16)は横長剥片を素材とし、主要剥離面及び稜上より加工が施されている。(15)は右先端部に自然面を残す。主要剥離面には大まかな加工が施されている。

(17)は縦長剥片を素材とし、二面加工を施している。打面を残しているが、上部は欠損している。

(18)は縦長剥片を素材とし、二面加工を施している。主要剥離面には打瘤(バルブ)が残っている。下部欠損。

(19)は横長剥片を素材とし、二面加工を施している。左先端部は無加工である。

○スクレイパーは5点出土している。(第21図)

(20)は厚みのある縦長剥片を素材とし、両側縁部に加工を施している。背面右側部、下縁部に自然面を残す。

(21)は厚みのある剥片を素材とし、右側縁部に抉入状の加工を施している。背面に自然面を残している。

(22)は厚みのある剥片を素材とし、弧を描くように加工が施されている。エンドスクレイパーで左側縁部は欠損している。

○その他の石器 (第21図・第22図)

(23)は小型の石核である。礫を分割し、平坦面を一側面と設定し、平坦打面より縦長剥片を剥離している。

(24)は二次加工剥片、(25)～(29)(32)は使用痕剥片、(30)(31)(33)は剥片である。

【M-1 グリッド】

○ナイフ形石器は13点出土している。(第23図・第24図)

(34)(35)(36)(37)(38)は一側縁加工のナイフ形石器である。

(34)は横長剥片を素材とした、一側縁加工のナイフ形石器である。背面及び主要剥離面からブランティング加工が施されている。下部は欠損している。

(35)は横長剥片を素材とし、一側縁加工を施している。風化が激しく加工部は明瞭ではない。下部は欠損している。

(36)は縦長剥片を素材とし、右側縁部の主要剥離面及び背面からブランティング加工が施されている一側縁加工のナイフ形石器である。また、裏面加工も施されている。

(37)は剥片を素材としており、左側縁部主要剥離面よりブランティング加工が施されている。また、基部の裏面には、加工が施されている。先端は欠損している。

(38)は断面が三角形を呈し、左側縁及び稜上から加工を施している。刃部には使用痕が認められる。角錐状石器とも思われる。

(39)の幅広の剥片を横位に置いたものを素材とし、切り出し形を呈する二側縁加工を施したものである。右側縁は、背面及び主要剥離面からブランティング加工が施されている。また、左側縁は基部をやや内湾するように主要剥離面からブランティング加工が施されている。いわゆる「狸谷型」ナイフ形石器(注1)に類似する。

(40)(41)(45)は二側縁加工のナイフ形石器である。

(40)は幅広の剥片を素材として二側縁加工を行い直線的な刃部を形成している。また、基部の裏面には加工が施されている。

(41)は二側縁加工及び裏面加工が施されている。

(42)(43)(44)(45)は基部加工のナイフ形石器である。

(42)(43)は縦長剥片を素材として、やや直線的な基部加工を施し、左先端部に加工が施されている。

(44)縦長剥片を素材に主要剥離面よりやや直線的に基部加工を施している。先端部は使用中に欠損したものとと思われる。

(45)はノ字状剥片を素材とし、打面部を基部と設定し、背面、左側縁と基部に若干ブランティング加工を施している。いわゆる「今峠型」ナイフ形石器に類似する。

(46)は使用痕剥片であるが、打面部に若干加工も見られることからいわゆる「今峠型」ナイフ型石器の未製品とも考えられる。

(42)(43)(44)は剥片尖頭器の可能性もある。

○角錐状石器は2点出土している。(第24図)

(47)は縦長剥片を素材とした両側縁及び稜上から加工を施している。

(48)は縦長剥片を素材とし、主要剥離面及び稜上より加工を施している。先端部の裏面加工が施されている。

○剥片尖頭器は3点出土している。(第25図)

(49)は厚みのある縦長剥片を素材として、基部に抉入状の加工が施されている。

(50)は厚みのある縦長剥片を素材とし、左側縁全体にブランティング加工が施されている。

(51)は縦長剥片を素材とし、右側縁の基部と左側縁の全体に加工を施し、右側縁上部に刃部を形成している。

○スクレイパーは10点出土している。(第25図・第26図)

(53)は厚みのある剥片を素材とし、全てに二次加工が施されているエンドスクレイパーである。また、左側縁部は鋸歯状に刃部を作り出している。上部は欠損している。

(54)は厚みのある剥片を素材とし、右側縁部に弧を描くように刃部加工を施してある。

(55)(59)は剥片の下縁部に大まかな加工の後、細かい調整を施し、弧を描くように刃部を形成しているエンドスクレイパーである。

(56)は縦長剥片を素材とし両縁部に二次加工を施し刃部を形成しているサイドスクレイパーである。

(57)は縦長剥片を素材に右側縁下部を抉入状に加工している。

(58)は縦長剥片を素材に、左側縁部に加工を施したサイドスクレイパーである。

○その他の石器(第25図・第27図)

(52)は小型の石核である。礫を分割し、左側部は上方から、右側部は下方方向の剥離を行うことによりV字形を作り平坦面から縦長剥片を剥離している。

(60)~(63)は使用痕剥片である。

(60)(62)(63)は両側縁部に刃こぼれ状の微小剥離が認められる。

(61)は左側縁部に使用痕が認められる。

【W-10グリッド】

○ナイフ形石器は6点出土している。(第28図)

(64)(65)は、一側縁加工のナイフ形石器である。横長剥片を素材とし、主要剥離面よりブランティング加工が施されている。やや丸みがあった形状を呈している。両方とも下半を欠損している。

(66)は幅広の剥片を素材とし、左側縁部にブランティング加工を施している、切り出し形ナイフである。また、右側縁下部は、主要剥離面から打ち割って、基部をつくっている。

(67)は横長剥片を素材とし、左側縁部先端と右側縁部に主要剥離面よりブランティング加工

を施し、右側縁部上部に刃部を形成している。

(68)(69)は基部加工のナイフ形石器で、縦長剥片を素材とし、打面部を基部と設定し、主要剥離面より基部加工が施されている。基部はやや直線的である。いずれも剥片尖頭器の可能性もある。

○角錐状石器は2点出土している。(第28図)

(70)は幅広で厚い剥片を素材とし、主要剥離面より加工が施されている。

○剥片尖頭器は5点出土している。(第29図)

(71)(72)(74)は縦長剥片を素材とし、打面部を基部と設定し、基部に主要剥離面より加工を施し挟入状になっている。(71)は先端部が(72)は上部が欠損している。

(73)(75)は縦長剥片を素材とし、打面部を基部と設定し、一側縁部に主要剥離面から加工が施されている。基部は、やや挟入状に加工が施されている。(73)は、上部が欠損している。

○スクレイパーは5点出土している。(第29図)

(76)は、厚みのある縦長剥片を素材としたエンドスクレイパーである。下縁部に加工を施し刃部を形成している。

○その他の石器(第29図)

(77)(78)は使用痕剥片、(79)は細石刃である。

【W-11グリッド】

○ナイフ形石器は5点出土している。(第30図)

(80)(82)は二側縁加工のナイフ形石器である。

(80)は縦長剥片を素材とし、右側縁全体および左側縁の一部に主要剥離面からブランディング加工が施されている。下部は、欠損している。

(82)は横長で厚みのある剥片を素材とし、両縁部に主要剥離面からブランディング加工を施す。先端部は欠損している。未製品とも考えられる。

(81)(83)(84)は、一側縁加工のナイフ形石器である。

(81)は幅広の剥片を横位に置き左側縁部にブランディング加工を施している。

(83)は横長剥片を素材とし、主要剥離面よりブランディング加工を施す。下部は欠損している。背面には自然面を残す。

(84)は断面が三角形を呈する剥片を素材とし稜上と右側縁に主要剥離面側から加工を施してある。また、左側縁部の下部に主要剥離面から加工を施し基部を形成している。刃部となる左側縁には使用痕が見られる。角錐状石器の可能性もある。

○角錐状石器は5点出土している。(第30図・第31図)

(85)は断面が台形を呈しており左側縁及び、稜上より加工を施している。右側縁上部には大きな剥離が認められる。ナイフ形石器の可能性もある。

(86)は幅広で断面が三角形を呈している剥片を素材とし、左側縁部に主要剥離面及び稜上より加工が施されている。また、右側縁は主要剥離面から加工が施されている。なお、(92)の石錐に作りが似ていることから未製品とも考えられる。

(87)は縦長剥片を素材とし主要剥離面及び頂上から加工を施している。先端部の一部に自然面を残す。また、裏面は、左側縁部に大きな加工が施されている。

(88)は幅広の厚さのある剥片を素材とし主要剥離面及び稜上より加工を施している。また、裏面は、下部に加工が施されている。

(89)は断面が三角形を呈し、厚みのある剥片を素材として、主要剥離面及び稜上より加工を施している。上部は欠損している。

○石錐は3点出土している。(第31図)

(90)は縦長剥片を素材とし、両側縁に加工を施し、主要剥離面では打痕除去加工が施されている。上部は欠損しているが石錐だと思われる。

(91)は厚みのある剥片を素材とし、主要剥離面から加工を施している。上部は欠損している。

(92)は厚みのある横長剥片を素材とし、主要剥離面及び稜上から加工が施されている。

○スクレイパーは2点出土している。(第31図・第32図)

(93)は厚みのある縦長剥片を素材に左側縁に主要剥離面から大きな加工の後、細かい調整を施している。背面は自然面を残すサイドスクレイパーである。

(96)は大型の剥片を素材として、弧を描くように二次加工が施されているエンドスクレイパーである。

○その他の石器(第31図・第32図)

(94)不明石器。幅広の剥片を素材に、刃部を設定し、主要剥離面及び背面より加工が施されている。また右縁部が欠損した後、右縁部に欠損部より加工を施したものと思われる。

(95)は使用痕剥片である。(97)は剥片である。

【E-1グリッド】

○スクレイパーが2点出土している。(第33図)

(98)は幅広の剥片を素材とし、左側縁部に大まかな加工が施されている。サイドスクレイパーと思われる。右側縁部には、大きな加工が見られる。

(100)は厚みのある縦長剥片を素材とし、左側縁部背面及び主要剥離面に、大まかな加工を施した後、細かな調整が施されている。右側縁部には自然面を残す、サイドスクレイパーである。

○使用痕剥片は4点出土している。(第33図)

(99)は左側縁部に微小剥離痕が認められる。

(101)は縦長剥片の両側部に微小剥離痕が認められる。

(102)は幅広の不定形剥片の左側縁部に微小剥離痕が認められる。

【W-5グリッド】(第34図)

(103)は石錐である。横長剥片を素材とし、左側縁全体と右側縁全体に、主要剥離面より連続して細かい加工を施している。錐部を扶入状につくり出している。

【W-9グリッド】(第34図)

(104)(105)(106)は使用痕剥片である。(104)と(106)は右側縁部に(105)は下縁部に微小剥離

痕が見られる。

(107)は剥片である。

(5) 接合資料

接合資料は、28例接合関係が確認できた。

接合資料A (5+108)

ナイフ形石器と剥片の接合資料である。

石核から(5)を剥離し、打面を変え(108)を剥離している。(108)は不定形の剥片で、裏面の右側縁部に自然面を残している。

接合資料B (109+110+111+112+113+114+115+116)

石核2点と剥片6点計8点の接合資料であり、第10ブロックに分布している。

掌大の礫を素材としていると思われ、(110)(111)(112)に節理面が認められることから礫を分割した際に、(113)(114)(115)(116)を含む礫a、(110)を含む礫b、(111)を含む礫c、(109)を含む礫d、(112)を含む礫e等に分割され、aは(114)の剥離を行ったあと、(113)を剥離、(116)(115)と順に剥離が行われたと思われる。dは分割した後(109)を石核と設定し、分割面より剥片の剥離を行っている。eは(112)を石核と設定し平坦面より剥片の剥離を行っている。

接合資料C (82+117)

ナイフ形石器と剥片の接合資料である。

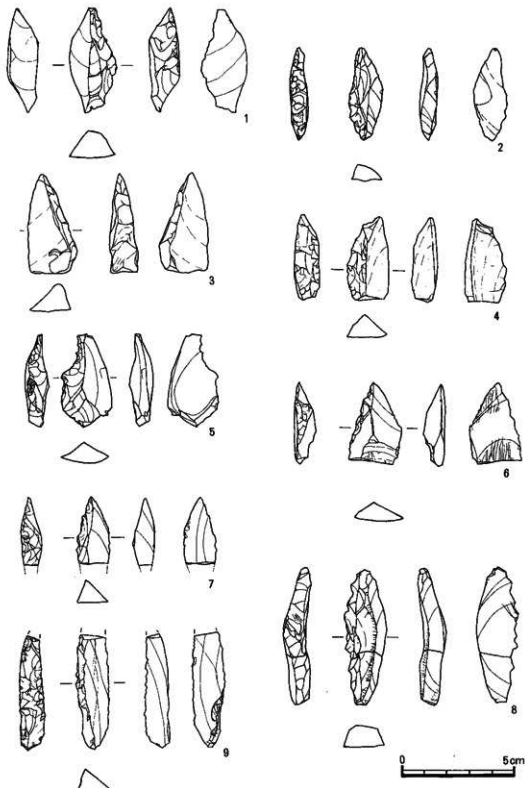
石核から(82)を剥離し、もう1点剥片を剥離した後、同じ打面から(117)を剥離している。

(117)は使用痕と思われる微小剥離痕が上縁部に認められる。なお、下縁部には、自然面が残る。

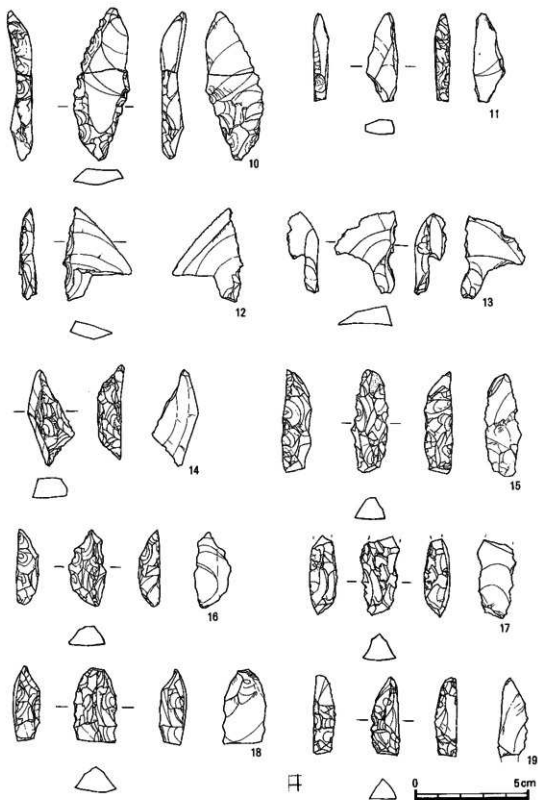
接合資料D (118+119+120+121+122+123)

石核1点、使用痕剥片4点、剥片1点の計6点の接合資料で、第6ブロックに分布している。この接合資料と同一の個体と思われる接合資料が他に3例あり、同一ブロックに分布している。

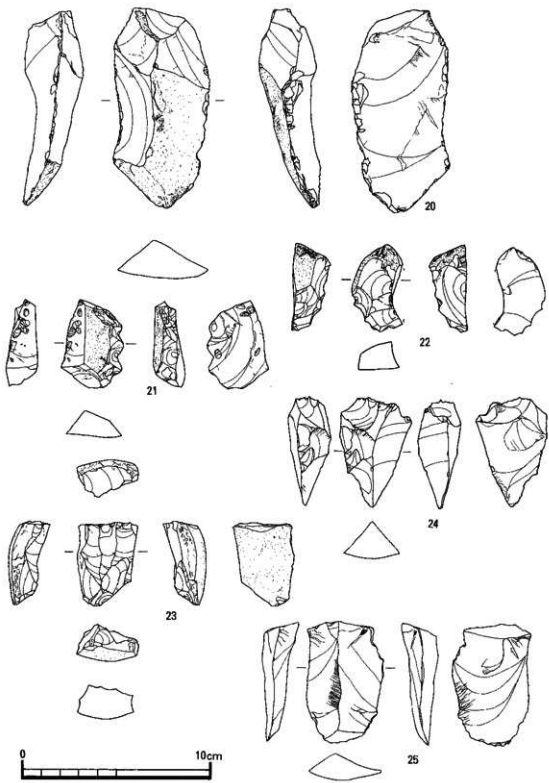
掌大の礫(118)(120)(121)(122)(123)を含む礫a、(119)を含む礫b等に分割し、礫aは(120)を石核と設定し、平坦面から(123)(118)(122)(121)を順に剥離している。礫bは、(119)を礫面から剥離を行っている。なお、(118)(122)は加撃力が石核の下方に抜かず、途中で石核の内部に入り込み、石核の裏面に抜けた為にウートラバッセ状を呈している。



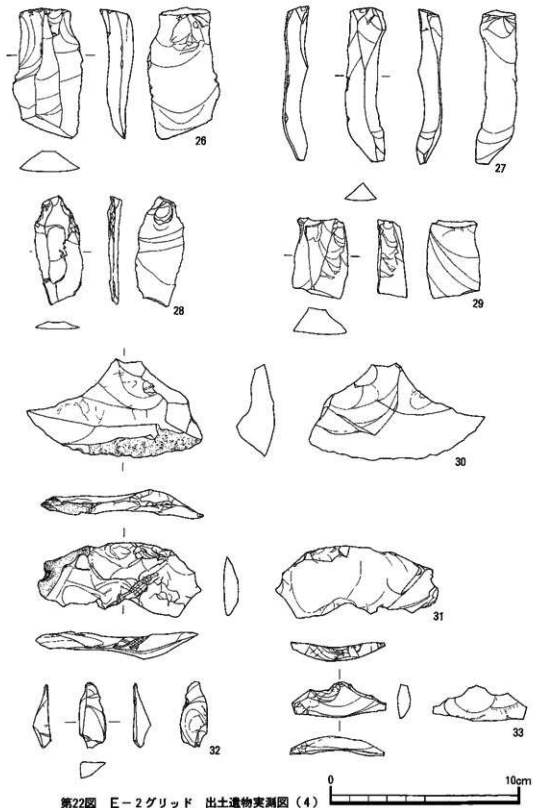
第19図 E-2グリッド 出土遺物実測図(1)



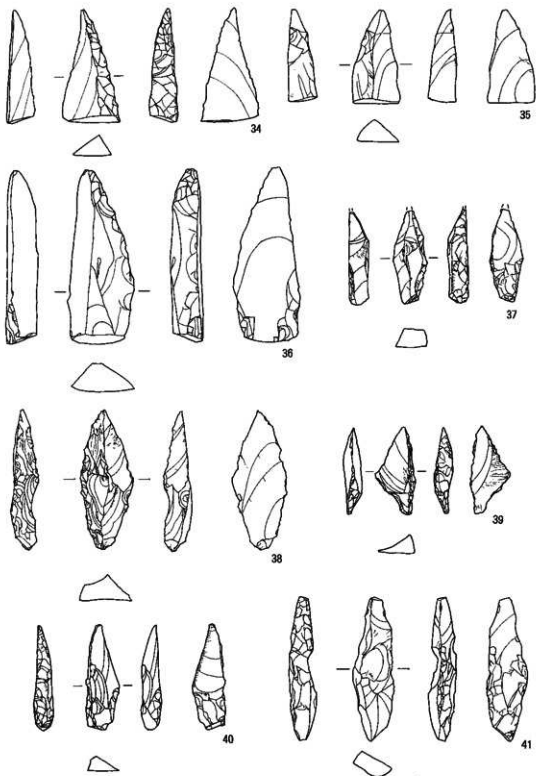
第20図 E-2グリッド 出土遺物実測図(2)



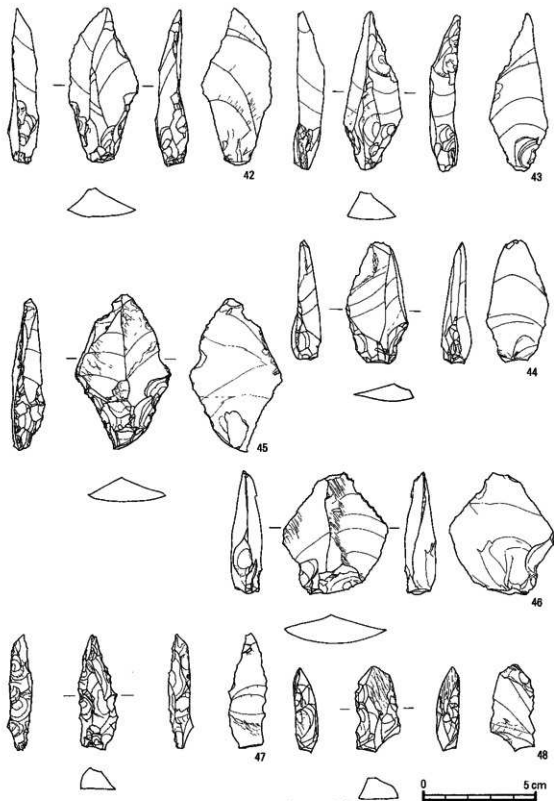
第21図 E-2グリッド 出土遺物実測図(3)



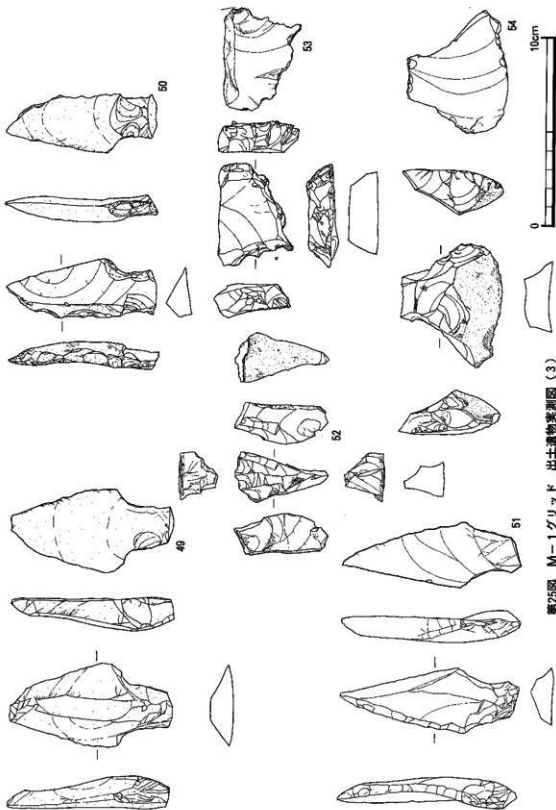
第22図 E-2グリッド 出土遺物実測図(4)



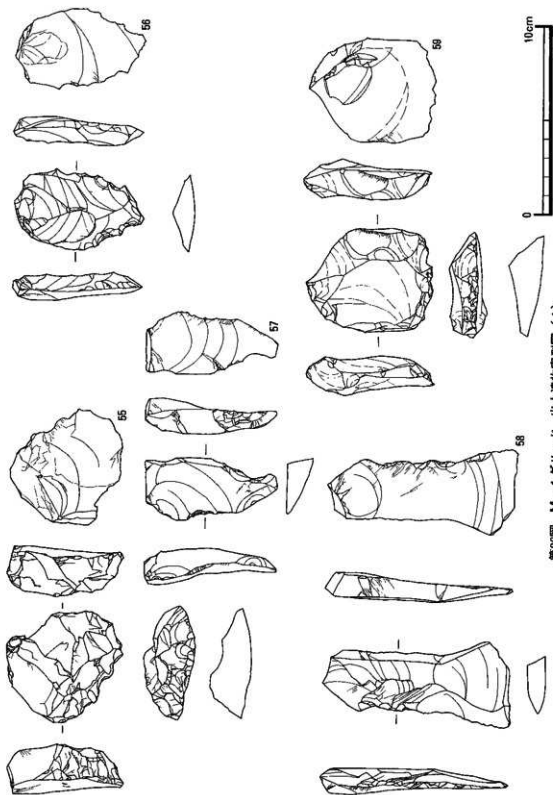
第23図 M-1グリッド 出土遺物実測図(1)



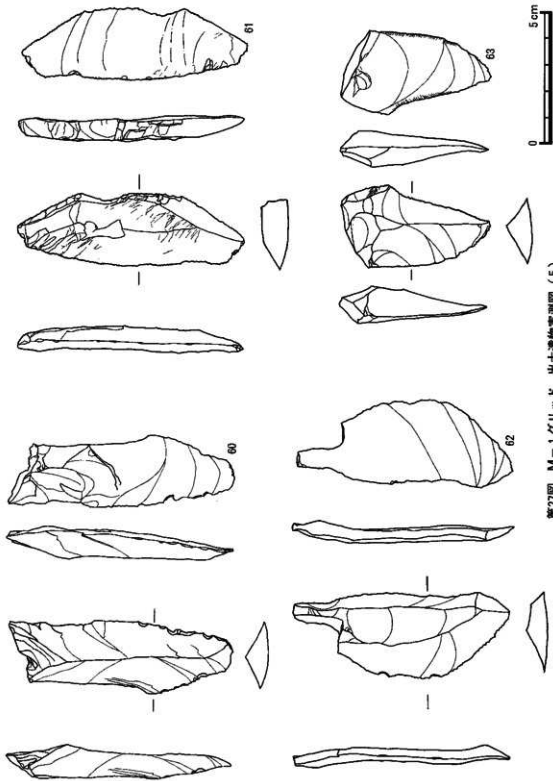
第24図 M-1グリッド 出土遺物実測図(2)



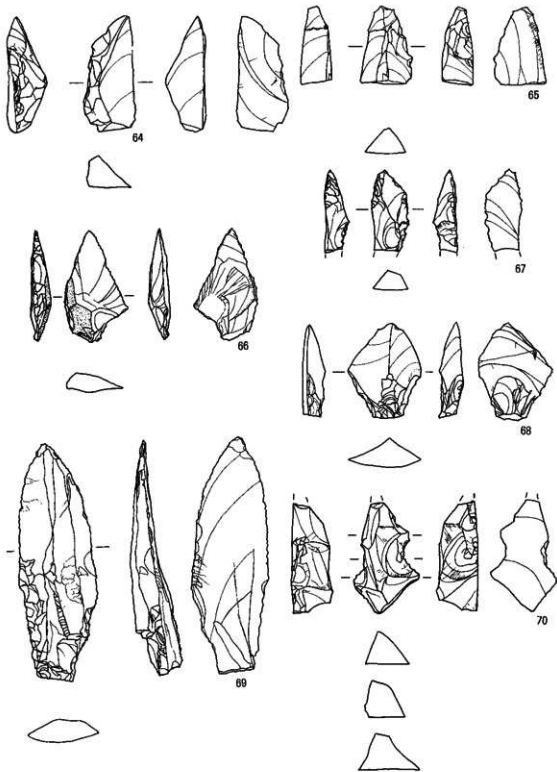
第25図 M-1グリッド 出土遺物実測図(3)



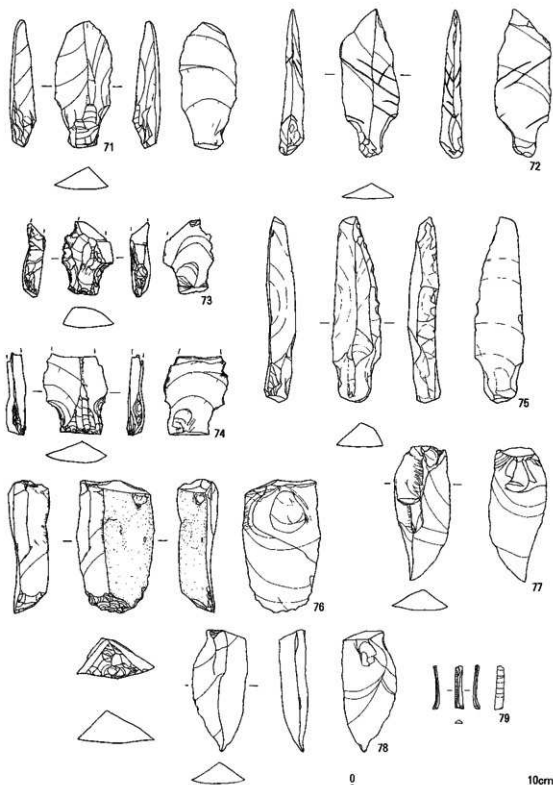
第268図 M-1グリッド 出土遺物実測図(4)



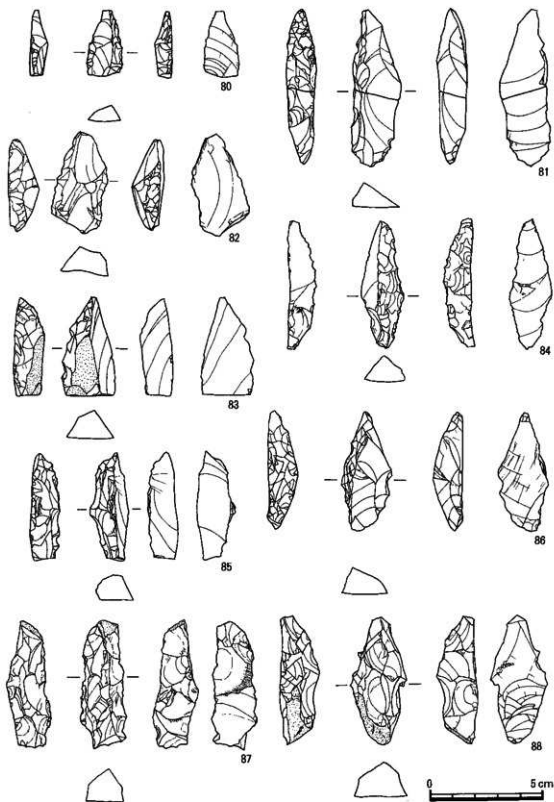
第27図 M-1グリッド 出土遺物実測図(5)



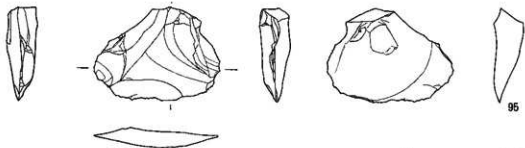
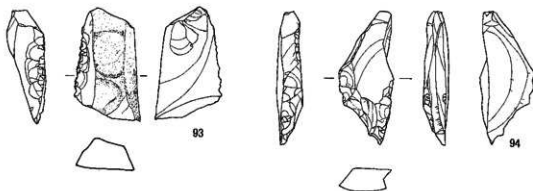
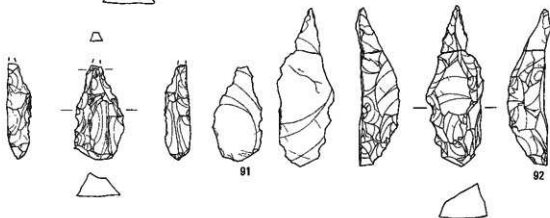
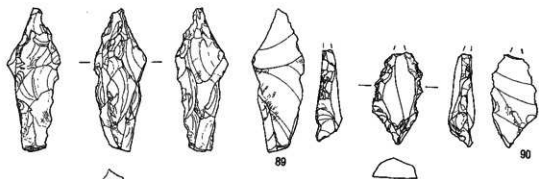
第28図 W-10グリッド 出土遺物実測図(1)



第29図 W-10グリッド 出土遺物実測図(2)

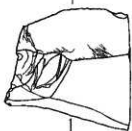
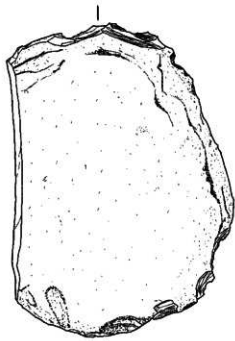
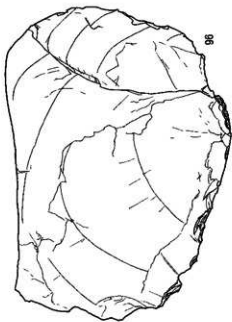


第30図 W-11グリッド 出土遺物実測図(1)

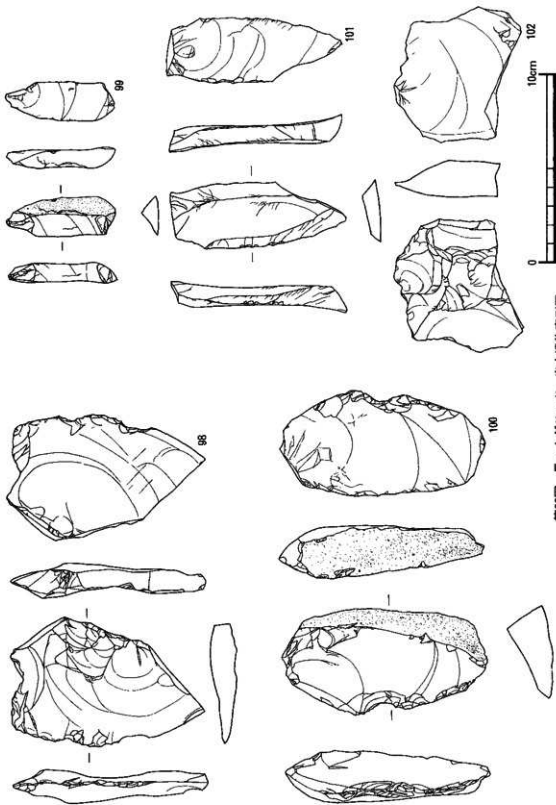


第31図 W-11グリッド 出土遺物実測図(2)

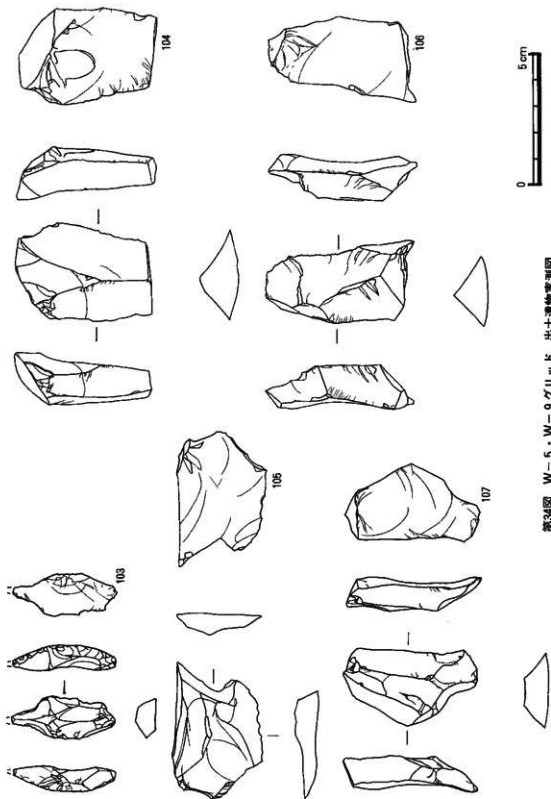




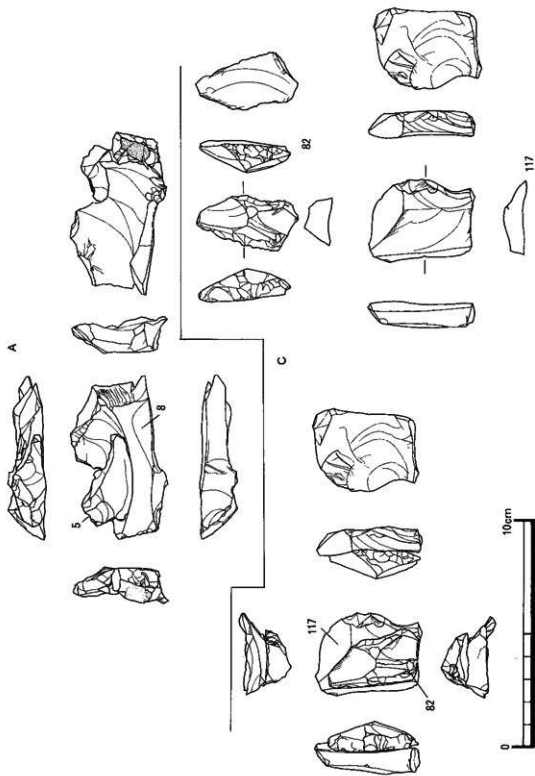
第32図 W-11グリッド 出土遺物実測図(3)



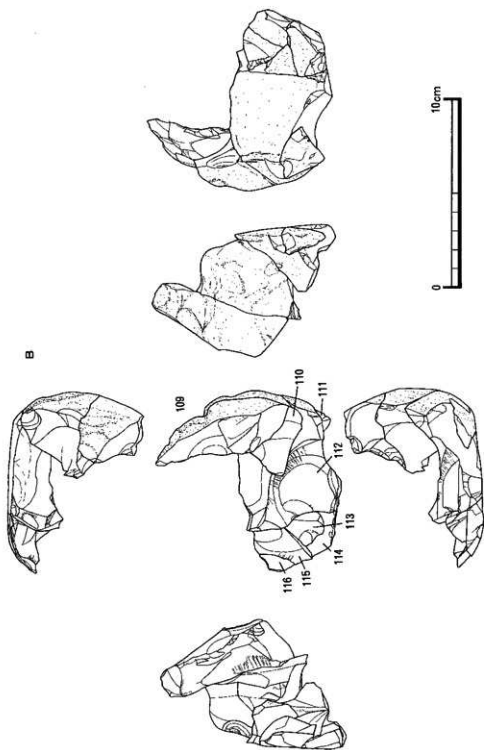
第33図 E-1グリッド 出土遺物実測図



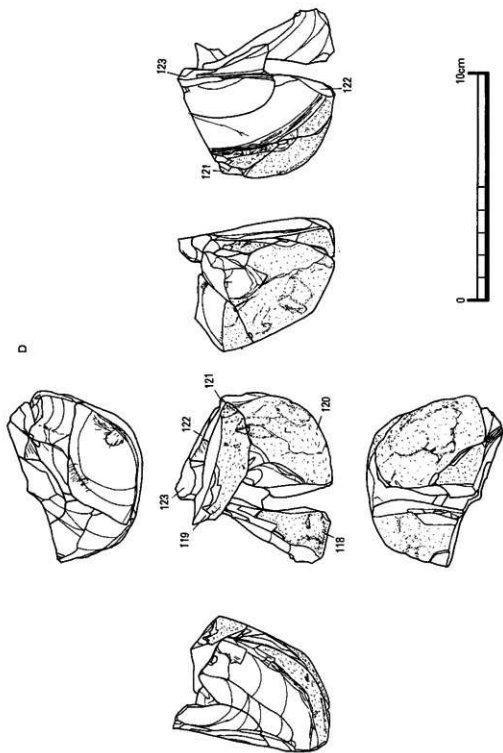
第34図 W-5・W-9グリッド出土遺物実測図



第35圖 接合資料A・C



第36圖 接合資料B



第37圖 接合資料D

第2節 縄文時代の遺物

E-2グリッド、W-10グリッド、W-11グリッドのVa層下部で縄文時代の遺物が出上しているが、これらのグリッドではVa層上部まで削平を受け、また、旧石器時代の遺物の混在も認められた。

(124)(125)(127)は石鏃で3点出上している。E-2グリッド2点(124)(125)、W-10グリッド1点(127)である。

(124)は姫島産の黒曜石製で、二等辺三角形を呈しており、V字状の抉りがある。

(125)はチャート製で、二等辺三角形を呈しており、U字状の深い抉りがある。なお、片脚は欠損している。

(127)は黒曜石製で、正三角形を呈しており、若干抉りがみられ、両縁部には比較的細かい調整が施されている。

(126)は尖頭器でE-2グリッドで1点出上している。両縁部から粗い加工を施している。また、主要剥離面も加工が施されている。

(128)(129)は磨石で2点出上している。E-2グリッド1点(128)、W-10グリッド1点(129)である。

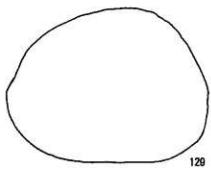
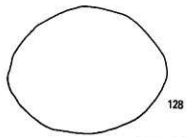
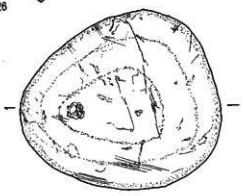
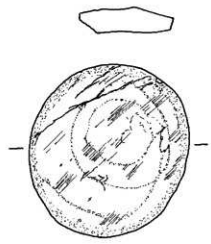
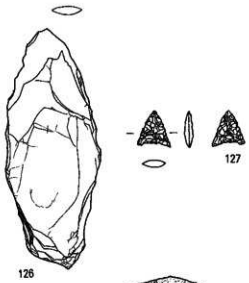
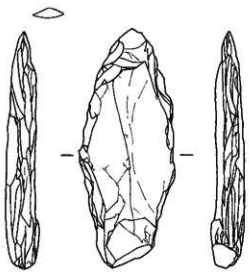
土器はE-2グリッドで1点、W-11グリッドで14点出上している。

(130)は縄文土器である。E-2グリッドで出土した。貝殻条痕が横方向へ施されている。

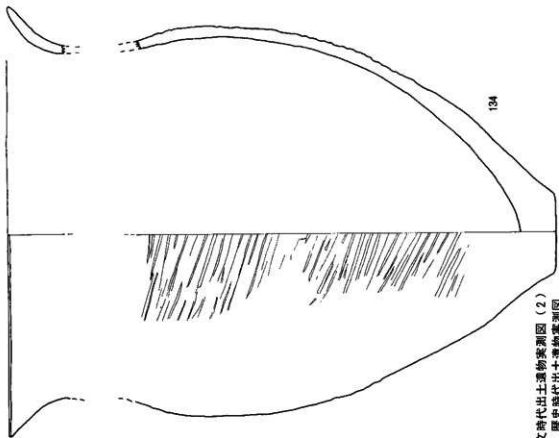
(131)(132)(133)はW-11グリッドで出上している。無文である。全面横方向にナデ調整が施されている。なお、一部焼成を受け残しているものもある。胎土的には縄文土器に類似しているが不明である。

第3節 歴史時代の遺物

(134)は、W-1グリッドのⅢ層から出土した。土師器の甕である。口縁部が外反し胴部がやや張る。底部は平底であるが、やや丸みがある。全面に斜め方向のタタキ調整が施されており、その上から一部ナデ調整が施されている。全体的に器壁が薄い。なお、一部焼成を受け残している。



第38圖 縄文時代出土遺物実測図(1)



134



131



130



133



132



第39圖 縄文時代出土遺物実測図(2)

歴史時代出土遺物実測図

垂水第1遺跡遺物観察表

1. E-1グリッド

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	使用痕剥片	流紋岩	5.8	2.0	1.3	12			99
2	"	"	5.8	4.3	1.9	34			
3	"	"	9.2	3.6	1.1	38			101
4	スクレイパー	"	8.9	8.3	1.6	80		サイドスクレイパー?	98
5	"	"	10.8	5.1	2.45	140		サイドスクレイパー	100
6	石核	"	6.7	7.7	3.65	235			
7	焼礫	"	5.1	5.1	2.35	71			
8	使用痕剥片	流紋岩	7.1	6.9	1.9	99			102
9	台石	安山岩	23.1	9.2	5.9	1,790			
10	"	"	16.1	14.1	7.1	1,900			

2. E-2グリッド

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	剥片	流紋岩	3.9	1.9	0.9	9			
2	石鏃	黒曜石	2.5	1.8	0.35	1			124
3	剥片	流紋岩	3.4	2.6	1.0	10	単		
4	"	"	3.0	2.6	0.8	3	複		
5	使用痕剥片	"	5.4	3.6	1.1	15	単		
6	"	"	3.1	1.9	0.55	5			
7	"	"	6.6	3.3	0.6	12			
8	"	"	2.8	2.2	0.6	3	複		
9	ナイフ形石器	"	2.2	4.1	1.0	9		+141 横長	5
10	使用痕剥片	"	7.5	5.8	1.5	54	複		
11	"	"	4.2	5.5	1.15	20	単		
12	剥片	"	6.2	3.9	1.5	22			
13	"	"	2.0	2.4	0.42	2	単	横長	
14	"	"	1.8	3.1	0.6	4	白	横長	
15	使用痕剥片	"	2.7	3.0	1.7	12			
16	焼礫	"	13.6	13.4	4.0	77.9			
17	台石	安山岩	16.6	14.0	10.9	2,000			
18	使用痕剥片	流紋岩	3.1	2.7	1.0	5	単	熱を受け赤く変色	
19	剥片	黒曜石	1.8	1.5	0.6	5			
20	使用痕剥片	流紋岩	4.3	2.6	0.9	10	単		
21	剥片	"	2.2	1.6	0.6	2			
22	"	"	6.3	3.6	8.5	20	白		
23	ナイフ形石器	"	4.7	1.6	2.0	10			1
24	剥片	"	3.1	3.2	1.0	9	単		
25	角錐状石器	"	4.1	1.7	0.9	9			14
26	剥片	"	1.6	2.0	0.5	1		横長	
27	使用痕剥片	"	4.2	3.9	1.3	22	単		29
28	"	"	3.4	1.2	0.8	1			32
29	剥片	"	3.3	3.6	1.1	8			
30	二次加工剥片	"	1.6	2.3	0.92	2		横長 使用痕あり	
31	使用痕剥片	"	2.9	1.8	0.7	2			
32	剥片	"	3.8	3.9	1.0	13	単	下部欠損	
33	使用痕剥片	"	3.5	2.4	0.5	5	単	熱を受け表面赤く変色	
34	"	"	2.8	2.6	0.3	2			
35	剥片	"	2.0	3.1	0.4	2		熱を受け自然面赤く変色	
36	"	"	1.1	2.2	0.5	2			
37	"	"	2.9	1.7	0.7	5			
38	二次加工剥片	"	2.3	1.3	0.9	3			
39	台石	安山岩	17.2	15.6	7.8	3,950			
40	剥片	流紋岩	4.1	3.7	1.2	20			
41	"	黒曜石	1.6	2.6	0.5	6		横長	
42	使用痕剥片	流紋岩	3.0	2.4	0.4	2			
43	"	"	3.4	2.1	0.7	7	単	使用痕あり	
44	剥片	"	3.5	4.2	1.5	20	複	横長	
45	"	"	2.9	2.0	0.6	2			

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
46	使用痕剥片	流紋岩	3.4	2.0	0.6	5		未製品?	
47	剥片	"	2.6	1.2	1.6	5	複		
48	使用痕剥片	"	4.0	1.5	0.6	5			
49	ナイフ形石器	"	1.6	3.2	0.7	5		横長 上部下部欠損	
50	剥片	"	3.4	1.8	0.9	5		熱を受け自然面赤く変色	
51	使用痕剥片	"	3.5	2.1	0.3	5	単		
52	剥片	"	2.3	2.6	1.25	8			
53	"	"	3.5	3.2	0.8	3	単	横長	
54	"	"	4.0	2.6	0.9	10			
55	石	燧石	2.3	1.0	0.3	1			125
56	角雉状石器	流紋岩	3.2	1.9	0.9	3		小型	16
57	剥片	"	4.2	1.5	0.8	7	単	+119	
58	使用痕剥片	"	4.9	2.1	0.6	7	単		
59	二次加工剥片	"	2.6	2.9	0.9	5	単	横長	
60	使用痕剥片	"	5.2	1.2	0.7	9	単	+154	
61	"	"	2.4	1.7	0.5	3	単		
62	"	"	6.2	2.8	0.8	15	複		
63	"	"	2.9	1.7	0.7	2	複		
64	"	"	7.5	4.4	1.2	34	複		
65	剥片	"	2.9	2.7	1.5	12			
66	"	"	4.3	1.4	1.0	5	単		
67	使用痕剥片	"	7.0	6.5	1.5	56	複	使用痕あり	
68	剥片	"	2.4	3.4	0.7	7	単		
69	土器片								130
70	剥片	流紋岩	3.4	4.3	3.3	35			
71	使用痕剥片	"	3.2	3.1	0.9	10			
72	"	"	5.4	3.3	1.2	20	複		
73	剥片	"	4.0	6.4	1.1	23	単		
74	使用痕剥片	"	3.6	2.6	1.1	10	単		
75	剥片	"	5.5	5.4	1.9	46	複		
76	"	"	3.3	1.2	0.9	5			
77	"	"	3.8	2.4	1.8	15	複		
78	使用痕剥片	"	2.1	3.5	0.5	5		横長 ナイフ未製品?	
79	剥片	"	5.7	4.4	1.3	35			
80	使用痕剥片	"	3.0	3.2	0.8	9	単	熱を受けて赤く変色	
81	剥片	"	3.1	4.1	1.3	10			
82	使用痕剥片	"	6.9	4.8	1.6	40	単		
83	石核	"	4.7	2.3	2.5	30	単	使用痕あり	
84	剥片	"	4.7	1.5	1.0	9	単		
85	使用痕剥片	"	2.4	3.9	0.5	5	単	横長	
86	原石	"	4.9	4.9	2.1	70			
87	使用痕剥片	"	4.7	5.4	1.8	40		使用痕あり	
88	剥片	"	3.3	4.0	1.0	16			
89	"	砂岩	5.1	2.8	0.7	10			
90	使用痕剥片	流紋岩	3.6	2.6	0.9	9	単	熱を受けて赤く変色	
91	"	"	2.3	2.4	0.6	3	単		
92	剥片	"	4.4	2.6	0.8	10	複		
93	使用痕剥片	"	3.5	2.8	1.5	10			
94	"	"	6.1	3.2	1.0	18		ナイフ未製品?	
95	角雉状石器	"	4.5	1.7	1.5	10			15
96	使用痕剥片	"	3.2	2.7	1.0	7		使用痕あり	
97	"	"	5.4	2.8	1.35	18			
98	剥片	"	3.2	2.7	0.9	8		熱を受け一部赤く変色	
99	ナイフ形石器	"	3.2	3.8	0.6	9			12
100	使用痕剥片	"	3.9	3.4	1.1	10			
101	剥片	"	2.0	3.0	1.1	7			11
102	ナイフ形石器	"	3.75	1.4	0.6	3			33
103	剥片	"	1.9	5.0	0.7	9		横長	
104	"	"	2.4	2.7	0.7	5			

No	器種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実 測
105	二次加工剥片	流紋岩	2.8	3.7	0.85	10		上縁欠損	
106	石 核	"	7.8	8.1	5.1	342		+182	
107	剥 片	"	3.0	1.8	0.6	3			
108	使用痕剥片	"	3.2	4.9	1.1	12			
109	剥 片	"	2.9	5.0	1.1	19	単	熱を受け赤く変色	
110	"	"	2.0	4.7	1.2	12		横長	
111	使用痕剥片	"	3.7	3.1	1.2	12	複		
112	"	"	6.5	4.1	1.9	31	単		25
113	"	"	3.5	4.1	1.0	10	複		
114	"	"	4.1	2.6	1.0	6	複		
115	剥 片	"	2.3	2.1	1.1	2			
116	使用痕剥片	"	2.9	2.4	0.8	3	単	下部欠損	
117	剥 片	"	2.6	2.5	1.0	5		+201	
118	"	"	9.0	6.6	2.3	126			
119	使用痕剥片	"	2.7	3.2	1.3	10	単	+57	
120	"	"	2.8	3.1	0.55	5	単		
121	"	"	2.5	2.4	0.8	3	単		
122	二次加工剥片	"	3.2	4.7	0.8	10	単		
123	ナイフ形石器	"	3.6	3.1	0.8	5			13
124	剥 片	"	2.6	2.3	0.9	3			
125	"	"	2.2	2.8	0.65	5			
126	使用痕剥片	"	3.4	4.3	1.6	20	単	横長	
127	剥 片	"	8.5	6.4	1.8	72	単	+157+203 熱を受け赤く変色	
128	"	"	3.2	1.5	1.35	3			
129	"	"	4.4	2.2	0.8	9	単		
130	"	"	3.0	3.3	1.1	10			
131	"	"	4.1	2.3	1.4	10			
132	"	"	2.7	4.3	1.4	21			
133	"	"	2.6	2.1	0.95	8	単		
134	スクレイパー	"	10.8	5.1	2.95	137		サイドスクレイパー	20
135	使用痕剥片	"	6.9	4.3	1.9	39	白		
136	"	"	3.3	3.9	1.2	10	単		
137	"	"	4.3	2.4	1.2	13	単	熱を受け赤く変色	
138	ナイフ形石器	"	3.0	1.4	0.9	2		円筒型?	7
139	使用痕剥片	"	5.3	2.9	0.3	10	単		28
140	"	"	3.2	4.4	1.4	20			
141	剥 片	"	7.0	3.9	1.6	48		+9	108
142	使用痕剥片	"	2.3	2.5	0.5	5	複		
143	"	"	1.9	2.3	0.5	4	単		
144	剥 片	"	2.1	1.9	0.6	5			
145	"	頁 岩	2.1	2.6	0.7	4			
146	ナイフ形石器	流紋岩	4.1	1.5	0.7	5			2
147	二次加工剥片	"	4.5	4.7	2.0	28			
148	使用痕剥片	"	2.2	2.6	0.5	2	単		
149	"	砂 岩	7.0	2.4	0.6	9			
150	剥 片	流紋岩	3.5	5.2	1.8	29			
151	"	"	2.2	2.7	0.9	8	単		
152	"	"	1.7	2.9	0.65	2			
153	"	"	3.0	1.8	2.0	9	単		
154	"	"	2.9	4.3	1.7	20		+60	
155	使用痕剥片	砂 岩	4.0	3.8	1.3	11	単		
156	"	流紋岩	3.1	2.2	0.8	5	単		
157	剥 片	"	7.9	3.6	2.8	50	単	+127+203 熱を受け赤く変色	
158	角錐状石核	"	3.2	2.2	1.0	6		下部欠損	18
159	剥 片	"	3.2	2.2	0.9	9			
160	使用痕剥片	"	2.5	2.9	0.9	9	単		
161	"	"	5.9	4.8	1.5	49			
162	剥 片	"	6.4	5.4	1.6	42			
163	使用痕剥片	"	9.3	5.9	1.25	60	単		

No.	器種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実 測
164	使用痕測片	流紋岩	4.2	2.2	0.8	9			
165	"	"	3.6	2.1	0.9	9		熱を受け赤く変色	
166	剥 片	"	6.6	4.2	1.1	44	単		
167	使用痕測片	"	3.6	3.1	0.8	10	単		
168	"	"	4.2	4.6	1.7	20			
169	ナイフ形石器	"	1.9	2.4	0.9	5		下部欠損	
170	使用痕測片	"	3.2	3.3	1.1	10	複	横長	
171	塊 礫		11.5	10.9	5.8	636			
172	使用痕測片	流紋岩	4.4	3.9	1.1	14	単		
173	剥 片	"	1.8	3.9	0.4	3			
174	使用痕測片	"	2.5	3.3	1.1	5	複		
175	剥 片	"	4.1	3.6	1.1	11			
176	使用痕測片	"	3.8	5.3	1.6	30	複		
177	ナイフ形石器	"	6.0	1.9	0.9	10		国府型?	8
178	使用痕測片	"	2.2	2.8	0.6	3			
179	剥 片	"	2.2	1.9	0.9	4			
180	角礫状石器	"	3.1	2.2	1.2	9		上部欠損	17
181	使用痕測片	"	3.6	3.2	1.0	10	単		
182	剥 片	"	5.9	1.3	1.6	25		+106	
183	"	"	3.7	4.2	0.8	11	単		
184	"	"	3.8	8.9	1.0	34		横長	31
185	"	"	9.2	5.2	2.0	69		横長	30
186	"	"	4.5	5.1	1.75	52			
187	ナイフ形石器	"	3.1	2.1	0.8	2		+223	10
188	使用痕測片	"	2.7	3.0	0.9	10			
189	"	"	6.9	3.8	1.5	34	単		26
190	剥 片	"	4.1	2.7	1.0	9	単		
191	使用痕測片	"	4.3	3.2	1.0	12	単		
192	剥 片	"	3.9	4.1	1.4	25			
193	二次加工測片	"	8.5	4.2	2.85	89		+202	
194	剥 片	"	5.0	1.0	3.1	20	自	+206	
195	二次加工測片	"	7.0	3.3	1.0	27			
196	使用痕測片	"	9.4	4.4	2.1	49			
197	スクレイパー	"	4.7	3.2	1.5	20		没入状	21
198	原 石	"	3.5	4.0	1.7	31			
199	使用痕測片	"	2.0	3.7	1.0	10			
200	"	"	3.8	3.3	0.5	6	複		
201	石 核	"	4.9	3.9	3.0	50		+117	
202	剥 片	"	5.5	3.7	2.7	35	複	+195	
203	"	"	4.0	5.2	1.95	50	複	+127+157 熱を受け赤く変色	
204	ナイフ形石器	"	3.7	2.5	1.2	13			
205	スクレイパー	"	4.7	2.7	1.9	26		エンドスクレイパー	22
206	石 核	"	4.6	4.4	3.85	100		+194	
207	使用痕測片	"	5.2	7.5	2.35	119	単	横長	
208	"	"	5.1	1.7	0.7	11	単		
209	剥 片	"	3.7	2.7	0.5	10	単		
210	使用痕測片	"	1.9	3.5	1.3	10			
211	剥 片	"	5.3	2.3	0.8	11			
212	石 核	"	4.7	3.2	1.7	29	単		23
213	使用痕測片	"	3.2	4.0	1.0	10		+218 上部欠損	
214	剥 片	"	1.9	5.4	1.9	12	単		
215	"	"	3.3	3.5	1.4	14	複		
216	ナイフ形石器	"	5.1	1.5	1.3	9		下半部 国府型?	9
217	剥 片	"	2.4	2.5	1.4	8			
218	使用痕測片	"	3.6	3.2	1.1	14	複	+213 下部欠損	
219	石 核	"	5.4	4.6	2.85	61		熱を受け変色?	
220	"	"	5.4	5.8	2.2	63			
221	二次加工測片	"	3.9	5.7	2.2	30			24
222	スクレイパー	"	3.7	5.2	1.4	31			

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
223	ナイフ形石器	流紋岩	4.0	3.4	0.7	10		+187 基部	10
224	剥片	"	4.5	3.3	1.4	17	複		
225	"	"	4.0	3.2	1.0	8		熱を受け自然面が赤く変色	
226	使用痕剥片	"	6.6	3.1	1.9	32			
227	ナイフ形石器	砂岩	4.4	2.1	12.5	10		下部	3
228	スクレイパー	流紋岩	3.9	2.9	1.0	10			
229	角錐状石器	"	3.5	1.2	1.0	3			19
230	使用痕剥片	"	4.9	1.5	1.1	10	複		
231	二次加工剥片	"	2.4	7.5	1.65	43			
232	剥片	"	4.1	3.2	0.7	10			
233	"	"	4.2	5.3	1.9	30	白		
234	二次加工剥片	黒曜石	3.29	2.75	1.27	10		上下部欠損	
235	使用痕剥片	流紋岩	5.5	2.5	1.6	15			
236	剥片	"	5.9	2.1	0.7	10	単		
237	敲石	安山岩	9.4	13.3	3.55	550			
238	鏝	"	8.8	6.8	5.35	411			
239	"	"	12.5	6.4	4.25	510			
240	磨石	花崗岩	6.8	6.7	4.88	268			128
241	台石	安山岩	8.5	11.8	3.15	380		+242	
242	"	"	6.9	11.1	4.0	368		+241	
243	敲石	"	11.4	11.1	5.15	710			
244	鏝	"	7.8	9.0	4.3	395			
245	台石	安山岩	13.7	14.6	6.45	1,694			
246	"	"	27.2	14.2	7.5	3,500			
247	"	"	18.1	12.8	4.7	1,330			
248	ナイフ形石器	流紋岩	3.7	1.5	1.5	9		上?下?欠損	
249	使用痕剥片	"	6.8	3.0	1.3	24	単		
250	"	"	7.8	4.4	1.5	39			
251	"	"	3.9	5.1	1.1	20	自		
252	"	"	4.3	6.1	1.76	29	単		
253	"	"	4.1	2.1	0.7	9			
254	剥片	"	4.9	4.1	1.9	36	単		
255	尖頭器	"	8.0	5.0	0.9	40		編文	126
256	剥片	"	5.9	3.7	0.85	19			
257	"	"	6.7	7.1	1.85	85	自	熱を受け赤く変色	
258	台石	安山岩	8.8	8.9	2.75	210		熱を受け赤く変色	
259	ナイフ形石器	流紋岩	3.5	2.2	0.8	5		先端部	6
260	剥片	"	2.2	1.0	0.7	2			
261	"	"	2.4	2.2	0.3	2	複		
262	使用痕剥片	"	8.3	2.1	1.0	16	単		27
263	剥片	"	6.1	4.1	1.3	30	単		
264	使用痕剥片	"	5.3	7.0	1.7	64		横長	
265	剥片	"	6.0	4.4	1.5	25	単		
266	使用痕剥片	"	6.0	4.8	1.8	42			
267	剥片	"	4.5	3.1	1.3	17	単		
268	使用痕剥片	"	2.6	2.6	0.8	9	単		
269	"	"	1.7	2.2	0.7	3			

3. W-9 グリッド

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	使用痕剥片	流紋岩	5.6	3.1	1.45	22			106
2	剥片	"	2.2	3.7	1.2	9			
3	"	"	4.6	3.6	1.05	14			107
4	使用痕剥片	"	2.0	2.2	0.7	3			
5	剥片	"	1.5	3.1	0.3	14			
6	使用痕剥片	"	4.4	4.9	0.87	15			105
7	剥片	黒曜石	2.5	2.4	1.1	6			
8	使用痕剥片	流紋岩	4.8	2.3	0.5	9	複		
9	"	"	5.2	3.7	1.7	30	単		104
10	"	"	4.5	2.9	1.0	10			

4. W-10 グリッド

No.	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	石 罫	黒曜石	1.3	1.3	0.25	1			127
2	磨 石	花崗岩	7.2	7.9	5.75	420			129
3	剥 片	流紋岩	3.9	2.4	1.5	12			
4	使用痕剥片	"	5.2	3.2	1.15	22			
5	"	"	6.9	3.7	0.8	18			
6	"	"	12.6	11.2	7.2	1,020			
7	"	"	12.9	17.3	10.4	3,000			
8	"	"	11.5	11.8	7.3	1,321			
9	"	"	11.4	8.2	8.46	981			
10	"	"	14.5	11.7	13.8	1,880			
11	台 石	安山岩	23.2	13.7	11.4	3,100			
12	罫	"	14.8	11.5	10.65	3,000			
13	"	"	17.9	16.2	12.4	3,500			
14	台 石	安山岩	28.1	15.3	7.4	3,800			
15	"	"	25.5	11.8	9.0	3,500			
16	"	"	11.7	11.0	15.5	3,500			
17	罫	"	11.8	11.0	8.35	1,750			
18	"	"	7.9	6.4	5.95	256			
19	"	"	6.6	7.4	6.15	280			
20	"	"	8.9	11.8	6.88	75.3			
21	使用痕剥片	流紋岩	5.3	3.0	0.8	12	複		
22	剥 片	"	3.5	2.5	1.8	12	白	+27+64	
23	"	"	4.4	3.5	1.0	20	単		
24	"	"	3.9	2.4	1.1	10			
25	使用痕剥片	"	3.7	2.7	0.7	8	単		
26	"	"	2.3	3.2	1.0	6			
27	剥 片	"	3.7	19.0	12.5	10		+22+64	
28	"	"	2.8	1.7	0.5	5			
29	"	"	4.5	2.7	1.1	13	複		
30	使用痕剥片	"	2.7	4.2	0.7	11	白	横長	
31	剥 片	"	3.2	4.0	1.0	9			
32	"	"	2.0	2.8	0.8	2			
33	"	"	2.6	2.4	0.65	5		140+42+43+70+77+78+131	111
34	使用痕剥片	"	2.6	2.6	0.5	6			
35	剥 片	"	3.0	3.9	0.65	10	複	横長	
36	使用痕剥片	"	1.7	2.5	0.5	3	複		
37	"	"	2.1	3.6	0.6	9	単		
38	剥 片	"	3.2	3.7	0.65	10	単		
39	使用痕剥片	"	4.6	1.7	1.65	10		+75	
40	剥 片	"	2.3	2.3	2.65	10		-33+42+43+70+77+78+131	113
41	使用痕剥片	"	3.5	5.1	0.6	9	単	横長	
42	剥 片	"	3.9	2.2	1.4	9		-33+40+43+70+77+78+131	115
43	"	"	3.2	1.9	0.95	8		-33+40+42+70+77+78+131	114
44	"	"	2.7	5.0	1.4	21			
45	"	"	5.4	3.0	1.3	20	単		
46	使用痕剥片	"	4.8	3.5	1.8	30			
47	ナイフ形石器	"	2.9	2.0	1.1	5			65
48	"	"	4.3	1.9	1.1	9			64
49	剥 片	"	1.8	2.9	1.1	15	単		
50	使用痕剥片	"	2.2	3.3	0.5	9			
51	剥 片	"	2.7	3.1	2.5	20			
52	使用痕剥片	"	3.5	2.8	0.7	5	複	熱を受け赤く変色	
53	ナイフ形石器	"	3.1	1.4	0.85	5			67
54	使用痕剥片	"	3.9	2.1	0.8	10			
55	"	"	4.0	2.8	1.6	9			
56	剥 片	"	2.6	5.2	1.8	13			
57	"	"	8.2	3.5	2.2	70			
58	使用痕剥片	"	1.8	3.7	1.0	5			

№	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実面
59	石核	流紋岩	4.5	3.1	2.1	30			
60	割片	"	6.5	5.8	2.25	70	單		
61	使用痕割片	"	2.8	3.3	1.3	10			
62	割片	"	4.0	2.3	1.25	11	單		
63	"	"	5.5	1.4	0.75	9	單		
64	"	"	3.8	2.5	1.2	12		+22+27	
65	二次加工割片?	"	4.8	3.1	1.0	20			
66	使用痕割片	"	6.0	2.7	1.4	23	單		
67	礫	"	4.8	3.1	1.15	20			
68	角錐状石器	流紋岩	3.9	1.6	1.8	11			
69	割片	"	5.2	4.2	1.6	35	單	+71+58 (W-11グリッド)	
70	石核	"	3.7	6.9	2.1	51		+33+40+42+43+70+78+131	109
71	割片	"	4.3	3.7	2.0	28		+69+58 (W-11グリッド)	
72	使用痕割片	"	5.6	2.6	1.55	22			
73	割片	"	3.4	3.1	0.95	11	單		
74	"	"	3.2	2.9	1.0	11			
75	"	"	5.9	3.3	1.9	30		+39	
76	石核	"	5.1	5.9	1.95	50			
77	割片	"	3.7	5.7	3.95	70		+33+40+42+43+70+78+131	110
78	石核	"	7.5	5.4	3.27	91		+33+40+42+43+70+77+131	112
79	割片	"	4.3	0.7	1.2	7			
80	"	"	3.1	3.0	0.7	9			
81	使用痕割片	"	4.2	2.8	1.1	10	單		
82	"	"	3.2	2.8	0.9	8			
83	割片	"	4.6	3.3	1.5	25	單		
84	"	"	2.6	2.4	0.9	9	單	+144	
85	"	"	2.5	3.3	0.72	5			
86	"	"	2.9	2.8	0.6	8	單		
87	石核	"	6.0	5.1	2.45	63			
88	使用痕割片	"	4.8	2.8	2.0	18			
89	"	"	3.7	6.4	1.6	30			
90	"	"	2.9	2.8	1.05	9	複		
91	"	"	2.1	3.2	0.5	3			
92	石核	"	5.3	5.3	2.9	70			
93	スクレイパー	"	2.6	3.1	1.9	20			
94	割片	"	7.5	3.5	2.3	50			
95	使用痕割片	"	2.9	2.5	0.85	8			
96	割片	"	4.4	3.2	0.95	18			
97	"	"	5.2	5.1	1.9	30	複		
98	"	"	3.4	4.0	1.35	20		横長	
99	使用痕割片	"	7.2	3.0	1.4	26			77
100	割片	"	5.7	6.7	1.7	58			
101	割片尖頭器	"	6.7	3.1	1.25	21		先端部欠損	71
102	使用痕割片	"	3.0	2.9	1.15	10	單	熱を受け左面赤く変色	
103	スクレイパー	"	3.4	4.5	0.8	9			
104	割片	"	8.7	3.4	1.9	50			
105	使用痕割片	"	8.9	6.3	1.75	90			
106	石核?	"	4.8	3.0	1.8	30			
107	スクレイパー	"	2.8	3.0	0.75	10		+108サイドスクレイパー上部	
108	"	"	5.1	4.1	1.2	21		+107サイドスクレイパー下部	
109	使用痕割片	"	3.7	4.4	0.85	15		+153	76
110	"	"	3.9	3.4	1.25	40		+176	
111	割片	"	3.4	2.9	1.1	10			
112	使用痕割片	"	4.7	2.2	1.2	13	單		
113	スクレイパー	"	4.9	4.6	1.5	29			
114	使用痕割片	"	4.8	3.1	0.6	10	單		
115	割片	"	2.9	3.2	1.15	10		熱を受け赤く変色	
116	使用痕割片	"	3.7	3.7	0.7	12			
117	二次加工割片	"	2.9	2.6	1.25	9			

No.	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
118	剥片	流紋岩	3.5	2.6	1.6	13			
119	使用痕剥片	"	3.2	1.3	0.3	3	平		
120	"	"	2.7	4.7	4.5	10		横長	
121	敲石	安山岩	4.9	6.3	3.4	134			
122	使用痕剥片	流紋岩	6.1	2.1	1.2	15	複		
123	剥片	"	4.6	4.9	0.7	19	平		
124	"	"	4.0	2.9	0.5	9	複		
125	角錐状石器	"	4.1	1.5	1.4	11			70
126	使用痕剥片	"	4.2	3.9	0.72	15			
127	剥片	"	4.2	1.7	0.6	5	複		
128	"	"	3.0	2.5	0.8	10	平		
129	使用痕剥片	"	5.3	4.2	2.25	50			
130	"	"	4.1	4.7	1.4	21			
131	剥片	"	2.3	1.9	0.7	5		+33+40+43+43+70+77+78	116
132	"	"	4.3	1.3	0.6	5			
133	"	"	4.6	2.4	1.0	14			
134	不明		2.7	2.1	1.9	14			
135	鏃		6.6	7.5	3.9	229		熱を受け赤く変色	
136	使用痕剥片	流紋岩	6.4	2.9	1.15	18	平		78
137	"	"	7.1	3.3	0.8	19	平		
138	剥片	"	2.0	2.5	0.45	5	平		
139	"	"	4.8	4.1	2.1	40			
140	ナイフ形石器	"	3.7	2.8	1.0	12			68
141	剥片	"	5.8	4.9	1.3	31			
142	"	"	2.8	1.5	1.2	6			
143	"	"	5.9	6.0	2.4	60			
144	"	"	2.7	1.9	0.5	2	平	184	
145	"	"	3.1	5.9	1.4	20			
146	"	"	2.9	2.5	0.8	3		熱を受け赤く変色	
147	"	"	3.0	2.1	0.5	2			
148	使用痕剥片	"	2.0	3.5	0.55	3			
149	"	"	6.9	3.6	1.4	39	複		
150	"	"	3.7	4.6	1.45	20			
151	剥片	砂岩	7.5	2.7	1.4	29	平		
152	使用痕剥片	流紋岩	5.5	6.3	1.45	41	複		
153	スクレイパー	"	4.0	6.9	1.6	49		+109 エンドスクレイパー	76
154	ナイフ形石器	砂岩	9.1	1.9	1.3	30			69
155	使用痕剥片	流紋岩	5.8	2.3	0.8	12			
156	剥片	"	4.3	3.5	1.4	17	複		
157	ナイフ形石器	"	3.9	2.3	0.75	4			66
158	剥片	砂岩	5.1	2.5	1.0	12			
159	"	"	5.0	3.0	1.35	17	平		
160	鏃	"	7.2	4.5	4.9	155			
161	使用痕剥片	流紋岩	5.2	3.4	1.75	36	白		
162	剥片尖頭器	砂岩	9.9	2.6	1.25	35			75
163	剥片	流紋岩	1.7	2.1	1.2	8			
164	剥片尖頭器	"	4.5	3.3	1.0	16			74
165	"	"	3.9	2.7	0.9	12		下部	73
166	剥片	"	3.5	4.4	1.35	20			
167	"	"	6.5	4.4	1.7	51			
168	"	"	3.8	4.1	1.7	23			
169	"	"	5.4	4.4	2.7	32			
170	"	"	4.4	4.1	1.85	30			
171	"	"	3.8	2.0	1.4	10	平		
172	"	"	4.8	3.4	1.4	24			
173	"	"	6.0	3.4	1.2	30	平		
174	"	"	3.1	2.8	0.6	5	平		
175	"	"	4.3	2.2	0.65	10	平		
176	使用痕剥片	"	4.4	3.9	1.3	46		1110	
177	剥片尖頭器	砂岩	7.8	3.0	1.0	21		上部欠損	72

4. W-10 グリッド 型穴状遺構埋土内

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	使用痕剥片	流紋岩	4.9	1.9	0.7		10		
2	剥片	"	3.2	1.0	0.3		3		
3	"	"	2.9	1.0	0.3		3		
4	燧石刃	黒曜石	2.3	0.5	0.2		1		79

5. W-11 グリッド

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	実測
1	土器片								
2	"								
3	"								
4	"								131
5	"							+6	132
6	"							+5	132
7	土器片		2.2	1.5	0.3		1		
8	"								
9	"								
10	"								
11	"							+13	133
12	"								
13	"							+11	133
14	"								
15	"								
16	石 錐	流紋岩	4.2	2.8	1.0	10			91
17	石 槌	"	6.7	7.9	4.9	322		+19+20+21+22+23	
18	剥片	"	2.3	2.2	1.5	9	単		
19	"	"	5.9	4.1	1.5	32	単	+17+20+21+22+23	
20	"	"	3.5	2.9	1.1	10	複	+17+19+21+22+23	
21	"	"	5.7	5.9	1.25	24		+17+19+20+22+23	
22	"	"	4.7	6.4	1.65	55	複	+17+19+20+21+23	
23	"	"	6.2	8.2	1.8	109		+17+19+20+21+22	
24	"	"	2.6	2.5	1.0	6	単		
25	使用痕剥片	"	7.6	4.2	2.3	60	単		
26	剥片	黒曜石	1.8	1.3	1.1	3			
27	"	"	3.2	1.2	1.1	5			
28	"	流紋岩	3.5	2.1	1.15	7	複		
29	"	"	2.6	2.7	0.7	6	単		
30	"	"	5.7	1.7	1.2	17			
31	ナイフ形石器	"	4.5	1.4	0.8	7	単		
32	剥片	"	3.1	2.5	0.85	10	複		
33	"	"	4.5	3.5	0.9	22		+44	117
34	使用痕剥片	"	2.1	1.7	0.7	2			
35	ナイフ形石器	"	2.9	1.5	0.7	5			80
36	スクレイパー	"	10.9	8.6	1.6	221		エンドスクレイパー	96
37	使用痕剥片	"	10.0	6.9	2.35	198			
38	剥片	"	5.7	3.0	1.2	20	単		
39	使用痕剥片	"	5.8	7.0	1.3	60		+40	
40	"	"	6.6	3.4	1.5	30		+39	
41	"	"	1.8	2.7	0.25	2	単		
42	ナイフ形石器	"	3.7	2.0	1.1	9		+57 上部	81
43	剥片	"	2.7	2.1	1.0	5	単		
44	ナイフ形石器	"	3.2	2.5	1.7	11		+33	82
45	使用痕剥片	"	2.3	3.3	0.7	5			
46	角錐状石器	"	4.7	1.8	1.2	10			85
47	剥片	黒曜石	3.6	2.1	1.0	10			
48	使用痕剥片	流紋岩	2.5	2.3	0.5	3	単		
49	"	"	4.1	2.8	1.3	13			
50	剥片	"	2.9	2.1	1.0	9			
51	二次加工剥片	"	4.2	3.9	1.3	22			
52	角錐状石器	"	5.8	2.1	1.65	20			87

No	器 種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	打 面	備 考	実 面
53	ナイフ形石器	流紋岩	4.3	2.3	1.2	12			83
54	使用痕剥片	"	5.1	3.0	1.35	20			
55	"	"	3.8	3.8	0.9	15		上部欠損	
56	二次加工剥片	"	4.6	1.9	0.9	9	複		
57	ナイフ形石器	"	3.2	2.0	1.0	7		+42 下部	
58	剥 片	"	5.7	6.3	3.1	84		+69 (W-10グリッド)	
59	"	砂 岩	7.3	2.4	1.2	32		+71 (W-10グリッド)	
60	"	"	6.5	2.1	0.85	8			
61	石 核	流紋岩	3.9	4.5	3.8	45			
62	剥 片	"	3.3	0.9	0.3	5	單		
63	"	"	3.5	3.7	0.5	7	單		
64	使用痕剥片	"	5.8	4.1	1.4	30	複		
65	"	"	2.9	2.4	0.8	5	單		
66	"	"	4.01	1.65	0.65	5			
67	剥 片	"	2.7	2.6	1.0	7	單		
68	使用痕剥片	"	3.7	2.7	1.0	5	單		
69	剥 片	"	1.8	2.6	0.7	6	白		
70	"	"	4.9	2.3	1.0	9	單		
71	角錐状石器	砂 岩	5.2	2.2	1.2	10			86
72	ナイフ形石器	流紋岩	5.6	1.9	1.1	11			84
73	石 錐	"	5.1	2.6	1.4	20			92
74	角錐状石器	"	5.7	2.4	1.6	20			88
75	"	"	6.4	2.2	2.2	23			89
76	不明石器	"	5.9	2.4	1.1	16			94
77	石 錐	"	4.0	2.3	1.0	10			90
78	使用痕剥片	"	2.6	3.8	0.6	3	單		
79	"	"	3.1	2.7	0.9	9		+85	
80	"	"	5.0	3.0	0.8	12			
81	"	"	5.0	3.5	1.2	21			
82	ナイフ形石器	"	4.2	3.2	1.1	13	複		
83	使用痕剥片	"	3.7	3.8	0.6	3			
84	剥 片	"	5.7	2.0	1.1	10	單		
85	使用痕剥片	"	2.8	3.0	1.35	10		+79	
86	"	"	4.7	2.9	0.85	10	單		
87	"	"	4.2	5.6	1.2	22	單		95
88	剥 片	"	3.1	2.4	0.8	7	單		
89	使用痕剥片	"	7.1	5.8	1.2	55	單		
90	剥 片	"	3.2	2.3	0.72	7	複		
91	"	"	3.2	2.8	1.2	10	複		
92	"	"	1.8	2.7	0.25	2	單		
93	使用痕剥片	"	3.4	3.4	1.35	20	單		
94	スクレイパー	"	4.3	2.9	1.35	24		サイドスクレイパー	93
95	剥 片	"	2.6	2.1	0.2	1			
96	使用痕剥片	"	5.7	4.5	1.0	23	單		
97	台 石	安山岩	19.8	9.2	5.26	1,386			
98	敲 石 ?	"	13.7	4.8	2.4	212			
99	原 石	流紋岩	3.6	4.6	2.2	41			
100	剥 片	"	4.7	4.6	1.6	39	單		97
101	"	"	4.0	6.7	1.2	32	複		
102	二次加工剥片	"	3.9	3.0	1.0	10	單		

6. M-1 グリッド

No.	器種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実測
1	ナイフ形石器	流紋岩	5.3	2.4	1.15	23			38
2	角雉状石器	"	5.2	1.7	0.95	10			47
3	剥 片	"	9.0	8.8	2.3	185	複		
4	使用痕剥片	"	9.6	8.4	2.5	239	白		
5	"	"	4.8	4.0	0.8	12	単		
6	"	"	4.0	1.6	1.5	6	単		
7	剥 片	"	5.2	1.9	2.6	19			
8	使用痕剥片	"	4.7	1.6	0.7	8	単		
9	剥 片	"	4.3	1.6	1.1	8			
10	石 核	"	3.5	4.7	2.3	29			
11	剥 片	"	5.5	4.8	2.35	42			
12	"	"	4.6	2.7	1.0	9	単		
13	"	"	3.8	1.9	0.5	5			
14	"	"	4.4	4.6	1.5	21	単		
15	使用痕剥片	"	5.3	4.2	1.0	19			
16	"	"	2.8	2.5	0.8	4	複		
17	"	"	3.0	1.9	0.65	2			
18	剥 片	"	4.0	4.6	2.35	30			
19	使用痕剥片	"	5.1	2.1	1.9	19			
20	"	"	3.4	1.5	0.9	5		横長	
21	"	"	3.8	2.2	0.4	1			
22	剥 片	"	2.9	2.3	0.85	4	単		
23	"	"	2.8	3.2	0.9	8	単		
24	使用痕剥片	"	6.5	3.6	1.2	22	単		
25	石 核	"	4.9	2.5	2.05	25			52
26	剥 片	"	3.1	2.4	0.9	9	白	+36+195	
27	使用痕剥片	"	4.2	5.2	1.7	44	複	+32	
28	"	"	4.4	3.3	0.95	9	複		
29	"	"	8.6	3.6	1.7	38			
30	剥 片	"	3.5	1.2	2.2	13			
31	使用痕剥片	"	6.0	4.8	1.0	26			
32	"	"	4.4	3.1	0.75	14		+27	
33	"	"	3.2	2.4	0.6	5	単	+37 42+90 136+137	121
34	"	"	5.5	3.2	1.0	18	単		
35	"	"	4.1	3.3	1.9	12	複		
36	石 核	"	5.6	4.0	2.85	73		+26 196	
37	剥 片	"	6.4	3.7	2.25	49		+33+42+90+136+137	122
38	使用痕剥片	"	3.3	3.2	1.45	10		+75	
39	剥 片	"	4.3	2.2	0.7	8			
40	"	"	3.0	1.9	0.5	4	複		
41	"	"	5.4	4.1	0.75	16		+43+46	
42	使用痕剥片	"	4.3	3.2	1.1	18	単	33 37+90+136+137	123
43	石 核	"	4.9	5.5	2.95	79		+41+46	
44	"	"	5.9	6.9	1.85	95		+93	
45	剥 片	"	5.6	4.3	2.35	54			
46	"	"	2.9	3.9	1.5	12		+41 43	
47	"	"	4.5	3.4	0.7	9		熱を受け一部赤く変色	
48	使用痕剥片	"	4.8	2.1	0.9	9	複		
49	剥 片	"	4.3	3.3	1.3	15			
50	"	"	7.5	5.3	2.5	75		熱を受け一部赤く変色	
51	石 核	"	7.7	6.0	3.62	136		+94+139 熱を受け赤く変色	
52	剥 片	"	5.2	2.1	2.4	16		+140	
53	使用痕剥片	"	4.7	3.3	0.78	13			
54	剥 片	"	3.7	2.6	0.75	6	複		
55	"	"	3.4	2.3	0.65	4	複		
56	"	"	1.9	1.3	0.5	2			
57	使用痕剥片	"	5.5	3.8	0.75	19			
58	"	"	3.6	2.4	0.6	8	単		

No	器 種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打 面	備 考	実 測
59	剥 片	流紋岩	3.8	3.7	0.9	13			
60	使用痕剥片	"	2.7	3.4	0.65	5	単		
61	"	"	4.9	3.7	1.1	13	単		
62	"	"	7.5	3.1	1.0	20	単		
63	剥 片	"	3.4	2.4	0.45	3			
64	使用痕剥片	"	3.8	2.8	0.8	3			
65	"	"	7.2	3.0	0.7	20	単		
66	スクレイパー	"	5.1	4.1	1.2	29		サイドスクレイパー	
67	剥 片	"	3.3	3.8	0.6	9	単		
68	ナイフ形石器	"	5.4	2.7	1.2	13			44
69	使用痕剥片	"	9.7	4.2	1.55	50	単		
70	剥 片	"	4.9	3.5	1.35	19			
71	使用痕剥片	"	3.2	2.2	0.5	3	複		
72	ナイフ形石器	"	2.9	3.6	1.25	14		穀谷型?	39
73	使用痕剥片	"	3.0	3.0	1.0	7			
74	剥 片	"	2.5	3.9	1.0	8			
75	"	"	4.2	3.4	0.9	2		+38	
76	"	"	2.8	1.9	1.1	5			
77	ナイフ形石器	"	7.6	2.9	1.75	32			36
78	剥 片	"	1.7	3.6	0.3	5		熱を受け赤く変色	
79	"	"	2.6	2.2	0.75	3	単		
80	台 石	安山岩	16.5	15.0	10.0	2,200			
81	剥 片	黒曜石	3.1	1.5	0.7	2			
82	"	流紋岩	2.9	3.8	0.8	9			
83	"	"	2.6	2.3	0.6	9			
84	"	黒曜石	2.4	1.4	1.1	6	単		
85	"	流紋岩	3.5	2.9	0.6	5	単		
86	使用痕剥片	"	2.0	3.0	0.5	3	単		
87	台 石	安山岩	25.0	20.5	5.5	5,000			
88	剥 片	流紋岩	3.7	1.5	0.35	2	白		
89	"	"	8.1	4.5	1.85	50	単		
90	石 核	"	6.1	5.5	3.6	129		+33+37+42+136+137	120
91	剥 片	"	3.3	1.9	0.6	5	単		
92	台 石	安山岩	32.0	11.0	9.5	5,700			
93	剥 片	流紋岩	3.4	2.9	0.7	5		+44	
94	"	"	2.5	2.7	0.9	9	単	+51+139	
95	使用痕剥片	"	2.2	3.6	0.85	9			
96	剥 片	"	2.4	2.7	1.35	10	複		
97	"	"	2.4	1.8	1.85	10	単	+99	
98	使用痕剥片	"	7.2	3.6	1.1	27	単		
99	剥 片	"	6.3	3.0	3.2	52		197	
100	使用痕剥片	"	4.3	2.5	0.7	6			
101	剥 片	"	2.2	2.4	0.3	2	複	横長	
102	"	"	6.8	3.8	2.5	40	単		
103	"	"	6.6	4.3	1.7	50	単		
104	使用痕剥片	"	3.8	4.5	1.3	21			
105	剥 片	"	3.3	2.6	0.7	6	単		
106	使用痕剥片	"	3.5	3.7	0.9	11			
107	剥 片	"	4.1	4.2	1.2	25			
108	"	"	2.7	1.9	0.6	3	単		
109	角錐状石器	"	3.8	2.1	0.9	8			48
110	ナイフ形石器	"	3.1	2.1	1.15	10		下部欠損	35
111	剥 片	"	3.7	4.4	2.45	30			
112	石 核	"	4.9	3.0	2.5	30	複		
113	剥 片	"	6.0	4.8	0.75	24			
114	"	"	4.6	2.6	1.1	22	単		
115	"	"	5.6	4.4	1.0	43			
116	使用痕剥片	"	4.0	2.5	0.7	7	複		
117	剥 片	"	3.9	2.4	0.55	5			

No.	器 種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実測
118	剥 片	流紋岩	1.5	3.1	0.5	2			
119	"	"	3.6	3.7	0.55	7	複		
120	"	"	4.4	2.9	0.7	9			
121	"	"	3.0	2.7	0.7	6	単		
122	"	"	2.7	2.4	0.75	5	単		
123	"	"	5.0	3.6	1.35	22			
124	"	"	7.1	5.9	1.72	85			
125	"	"	2.9	3.3	0.6	5			
126	"	"	6.0	3.6	1.2	23			
127	"	"	4.8	5.1	2.2	55			
128	使用痕剥片	"	7.0	4.2	1.5	31	複	+129+138	
129	剥 片	"	8.2	4.7	1.75	59	複	+128+138	
130	"	"	3.7	2.4	1.0	7	複		
131	"	"	2.0	2.3	0.7	5	複		
132	"	"	3.7	1.2	0.65	2			
133	ナイフ形石器	"	4.7	1.6	0.84	3			40
134	剥 片	"	3.7	1.9	0.55	2	単		
135	ナイフ形石器	"	4.1	1.4	0.85	9		先端部欠損	37
136	使用痕剥片	"	5.1	3.6	1.55	31	白	+33+37+42+90+137	119
137	"	"	5.6	3.1	1.5	22	単	+33+37+42+90+136	118
138	剥 片	"	4.8	5.3	1.87	42	単	+128+129	
139	"	"	3.7	2.9	0.8	10	単	151-94 黒化受け下層赤く黄色	
140	"	"	5.5	8.9	3.57	198		152	
141	"	"	3.5	2.9	1.1	10	複		
142	"	砂 岩	5.6	2.2	0.7	13			
143	ナイフ形石器	流紋岩	6.4	1.8	1.0	10			41
144	二次加工剥片	"	3.1	3.6	1.55	10			
145	焼 礫 片	"	4.0	1.7	1.5	9			
146	使用痕剥片	流紋岩	3.9	1.9	0.6	3	単		
147	石 核	"	4.8	3.6	2.2	38		+153	
148	剥 片	"	2.2	2.3	0.5	3	単		
149	"	砂 岩	5.6	3.0	0.6	10			
150	使用痕剥片	流紋岩	6.7	4.2	1.5	31			
151	剥 片	"	5.4	1.7	0.8	10	単	+244	
152	使用痕剥片	"	5.0	4.6	1.37	38	白		
153	剥 片	"	4.4	3.0	1.5	20		+147	
154	ナイフ形石器	"	3.2	2.5	1.2	11			
155	使用痕剥片	砂 岩	8.5	2.0	1.0	20	単		60
156	剥片尖頭器	"	9.6	3.4	1.2	36			51
157	剥 片	流紋岩	4.9	1.9	0.45	5	単		
158	スクレイパー	"	6.6	4.4	1.2	34	単	サイドスクレイパー	56
159	剥 片	"	3.3	4.1	1.0	16	複		
160	使用痕剥片	"	8.6	2.8	0.85	25			61
161	剥 片	"	4.8	4.0	0.8	19		+163+166	
162	"	"	3.2	2.6	0.85	11			
163	"	"	6.1	3.4	0.8		複	+161+166	
164	"	"	4.7	4.8	1.4	35	単	横長	
165	使用痕剥片	"	4.7	3.2	1.1	14	単		
166	剥 片	"	3.4	4.4	1.0	12	複	+161+163	
167	"	"	6.5	3.7	1.95	48			
168	"	"	6.0	4.8	0.9	25	複		
169	"	"	7.2	2.0	1.1	21			
170	"	"	2.3	4.1	0.3	6	複		
171	"	"	7.4	2.8	1.6	34	単		
172	"	"	2.3	1.5	1.75	10			
173	"	"	5.3	3.5	1.27	25	単		
174	スクレイパー	"	4.5	3.9	13.5	41		縮径状 エンドスクレイパー	53
175	使用痕剥片	"	3.3	2.6	0.75	10	単		
176	焼 礫	"	6.4	3.4	2.2	49			

No	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備考	支測
177	スクレイパー	流紋岩	3.5	4.2	1.5	18	単	横長	
178	"	"	7.0	3.5	1.35	36		挟入状	57
179	ナイフ形石器	"	3.1	7.0	1.25	22			42
180	使用痕剥片	"	7.4	4.4	1.0	22	単		
181	ナイフ形石器	"	5.0	4.1	1.15	8			34
182	剥片	"	3.0	2.9	1.5	12	複		
183	"	"	4.1	3.2	0.65	11			
184	使用痕剥片	"	6.0	7.0	2.5	97			
185	剥片	"	3.0	3.1	2.7	20		熱を受け一層赤く変色	
186	"	"	5.0	3.5	0.8	14	単		
187	"	"	6.0	1.7	0.45	12			
188	不明	"	4.2	1.8	1.15	9			
189	ナイフ形石器	流紋岩	7.0	2.6	1.1	20			43
190	使用痕剥片	"	4.7	3.0	0.9	14	単		
191	"	"	2.6	6.8	2.5	26			
192	剥片	"	0.9	3.9	1.15	4			
193	"	"	2.7	1.7	1.65	7			
194	石核	"	6.6	4.8	2.8	70	複		
195	使用痕剥片	"	6.5	3.1	2.2	40	単	+26+36	
196	剥片	"	4.0	3.0	1.2	12	単複		
197	"	"	6.2	3.9	1.15	28	複		
198	"	"	3.8	3.4	1.0	13			
199	"	"	8.6	2.5	1.0	29			
200	使用痕剥片	"	8.9	3.5	2.1	53	単		
201	"	"	3.3	2.3	0.4	3	単		
202	"	"	5.5	4.6	1.25	29	複	今跡型?	46
203	剥片	"	5.7	1.8	1.0	10	単		
204	使用痕剥片	"	3.0	2.6	0.6	5			
205	剥片	"	3.3	4.3	1.0	21	自		
206	ナイフ形石器	"	6.7	4.1	1.35	32	単	今跡型?	45
207	使用痕剥片	"	6.4	4.3	1.0	31	単		
208	"	"	5.7	3.2	1.2	19	単		63
209	剥片	"	2.1	3.4	0.8	2			
210	"	砂岩	7.2	2.4	0.8	20	単		
211	使用痕剥片	流紋岩	6.7	7.6	1.8	100	単	横長	
212	剥片	"	3.4	3.7	1.0	16	複		
213	剥片尖頭器	砂岩	8.1	3.2	1.25	38			50
214	使用痕剥片	流紋岩	8.2	3.3	0.6	16			62
215	剥片	"	3.1	3.9	0.8	5			
216	"	黒曜石	1.9	4.0	0.6	9	単		
217	"	流紋岩	5.4	4.0	1.35	22			
218	使用痕剥片	"	4.5	3.5	1.5	24	複	+222	
219	剥片	"	2.4	3.7	0.85	10	単		
220	石核	"	3.7	4.2	2.7	42			
221	スクレイパー	"	2.7	3.2	1.0	11		横長	
222	剥片	"	2.8	5.2	0.16	32	口	218	
223	使用痕剥片	"	8.0	2.7	0.8	22	単		
224	原石	"	6.6	15.1	6.0	570		熱を受け赤く変色	
225	剥片	"	3.6	2.6	0.9	10	複		
226	"	"	8.1	5.6	1.3	62	単	熱を受け赤く変色	
227	原石	"	5.6	7.9	4.0	255			
228	"	"	8.0	12.7	4.2	630			
229	使用痕剥片	"	4.1	2.7	0.8	10	単		
230	"	"	7.3	3.7	0.96	25	複		
231	剥片	"	3.7	4.6	1.35	25	自	横長	
232	"	"	5.7	2.2	1.5	19			
233	スクレイパー	"	6.2	5.4	2.25	79		ジョンドスクレイパー	55
234	剥片	"	5.0	3.3	0.7	10			
235	"	"	4.9	3.9	2.2	60			

No.	器種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実 測
236	使用痕剥片	流紋岩	8.7	4.7	1.25	40	板		
237	"	"	6.5	5.2	0.6	50			
238	剥 片	"	2.2	3.6	0.35	3			
239	使用痕剥片	"	4.7	4.2	0.85	14	単		
240	スクレイパー	"	6.9	6.2	1.7	70		エンドスクレイパー	59
241	使用痕剥片	"	3.8	4.8	0.8	10	板	横長	
242	"	"	7.0	3.8	1.0	23	単		
243	剥 片	"	3.4	2.9	1.0	9			
244	剥 片	流紋岩	6.2	2.6	1.2	20	単	+151	
245	敲 石	"	5.7	5.5	3.85	120			
246	剥 片	"	3.6	4.1	1.5	19		+253	
247	使用痕剥片	"	8.5	3.2	1.0	32	単		
248	スクレイパー	"	9.9	4.1	1.2	43		サイドスクレイパー	58
249	剥 片	"	3.6	3.4	1.5	11			
250	"	"	2.8	4.8	2.7	36			
251	二次加工剥片	"	5.5	4.2	1.8	29			
252	剥 片	"	2.7	3.8	1.6	10			
253	石 槓	"	4.5	6.7	2.2	52		+246	
254	スクレイパー	"	5.6	6.6	2.0	64			54
255	剥 片	"	2.4	2.6	0.6	4			
256	"	"	2.4	2.4	0.7	5	白		
257	"	"	4.1	4.5	1.5	30	単	横長	
258	使用痕剥片	"	5.2	4.4	1.0	16	板		
259	"	"	2.7	3.7	0.9	9	単	横長	
260	"	"	4.4	2.1	0.65	6	単		
261	敲 石	安山岩	6.8	3.7	2.4	50			
262	二次加工剥片	流紋岩	7.3	7.2	2.65	76			
263	剥 片	"	4.2	4.3	1.2	21	単		
264	使用痕剥片	"	3.0	2.9	1.5	10	単		
265	剥 片	"	2.9	2.8	0.7	6	板		
266	"	"	7.3	3.6	0.9	22	単		
267	敲 石	安山岩	14.3	4.0	2.1	200			
268	使用痕剥片	流紋岩	3.1	2.4	0.8	9	板		
269	剥 片	"	8.3	4.1	1.35	50	板		
270	剥片尖頭器	砂 岩	8.6	4.5	1.65	50			49

7. W-5 グリッド

No.	器種	石 材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	打面	備 考	実 測
1	石 錐	流紋岩	3.9	1.5	0.9	4			103

第4章 ま と め

垂水第1遺跡の調査では、旧石器時代の遺物は777点出土しており、石器組成は、ナイフ形石器40点、剥片尖頭器8点、角錐状石器15点、スクレイパー23点、石錐4点、二次加工剥片19点、使用痕剥片263点、敲石7点、台石13点、石核28点、剥片355点、細石刃1点、不明石器1点から成っている。

本遺跡では、ナイフ形石器文化の鍵層となる蛤良Tn火山灰(AT)層が確認できなかったが、石器組成から見ると、宮崎県内の遺跡でナイフ形石器と角錐状石器または剥片尖頭器を共伴する石器群は、赤木遺跡(延岡市)、船野遺跡(佐土原町)、金剛寺原第2遺跡(宮崎市)、堂地西遺跡(宮崎市)、芳ヶ迫第1遺跡(田野町)等を挙げることができる。

赤木遺跡では、二側縁加工、切り出し形、一側縁加工のナイフ形石器(切り出し形が約7割を占めている)、角錐状石器(三稜尖頭器)、剥片尖頭器が出土し、船野遺跡では、細石刃、細石核、台形椽石器、二側縁加工、基部加工、切り出し形、一側縁加工のナイフ形石器、尖頭器が出土している。また、本遺跡に隣接する金剛寺原第2遺跡では、切り出し形、二側縁加工、一側縁加工のナイフ形石器、角錐状石器が出土しており、堂地西遺跡では、切り出し形、二側縁加工のナイフ形石器、剥片尖頭器が出土している。芳ヶ迫第1遺跡では、一側縁加工、基部加工のナイフ形石器、角錐状石器(三稜尖頭器)、剥片尖頭器が出土している。

これらの遺跡は全てAT層上位からの遺跡であることから、まず、AT降灰後の石器群を伴った遺跡と考えて良いと思われる。

本遺跡でのナイフ形石器の特徴については、大きく分けて、切り出し形のもの、一側縁加工のもの、基部加工のもの、二側縁加工のものがあり、全体的に見ると、一側縁加工のものが多いことである。

切り出し形ナイフ形石器については、いわゆる「狸谷型」ナイフ形石器(注1)に類似するもの、一側縁加工のもので横長剥片を素材とした、いわゆる「国府型」ナイフ形石器に類似するもの、ナイフ形石器文化終末のものとして「今峠型」ナイフ形石器に類似するものの3タイプのナイフ形石器が出土しており、幅広い時期差が見られる。これらの石器の分布について、ブロック別に見てみると、第2ブロックにおいていわゆる「国府型」ナイフ形石器に類似するものが出土しており、また、第6ブロックにおいていわゆる「狸谷型」ナイフ形石器に類似するものが、第7ブロックにおいていわゆる「今峠型」ナイフ形石器に類似するものが出土している。

ブロックの設定については、あくまでも視覚的な遺物の集中という点と接合資料を基に行ったが、ブロックの時期的なものについては第5ブロック、第6ブロックの集石のように隣接する集石の検出面のレベルの違いなどからも、ブロック内外での複数の文化層の存在する可能性が示唆できるが、時間的な制約等により整理研究がそこまで至ることができなかった。

今回の調査では、調査区の制約等もあって、その全貌を明確にすることができなかったが、E-2グリッドの東側及びW-10グリッド、W-11グリッドの西側の未発掘部分の調査によ

ては、ブロック設定の変更も考えられ、層位の関連等から、ブロックの時期や遺跡の性格等が明らかになっていくものと思われる。

また、この台地上には、先にも触れたが金剛寺原第1遺跡、第2遺跡もあり、これらの遺跡との関連性についても、今後の研究、資料の充実等を待って、徐々にこの地域相が究明されていくものと思われる。今後に期待したい。

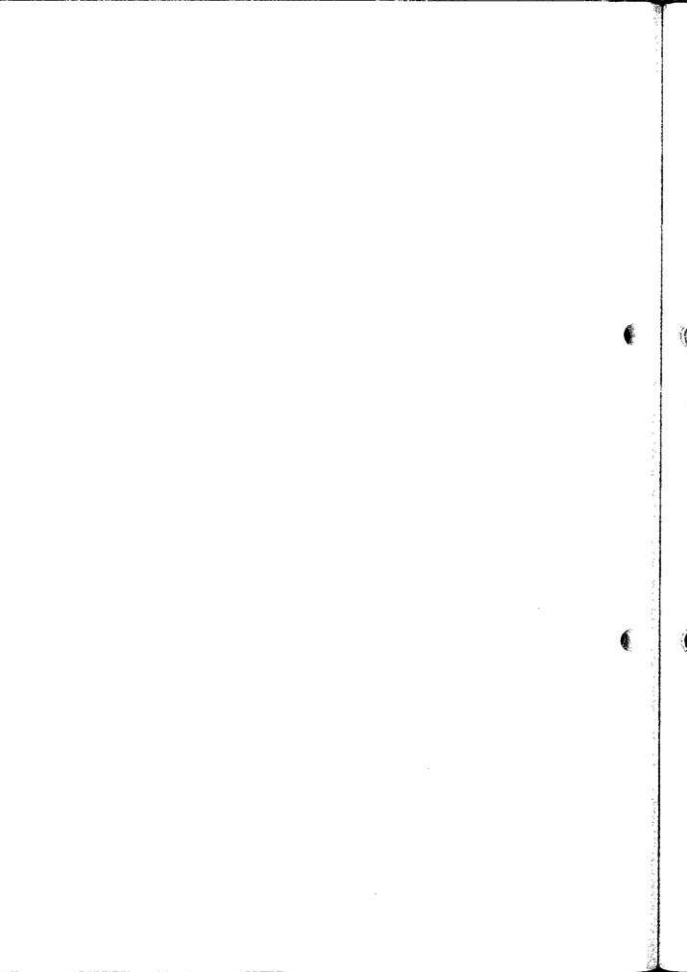
最後に、別府大学の橘呂信教授をはじめ、指宿市教育委員会の鎌田洋昭氏、高岡町教育委員会の山本賢一郎氏には、多大な御指導、御教示をいただいた。ここに、深甚の謝意を表します。また、多くの方々から貴重な御助言、御教示をいただいた。文末に明記し、感謝を申し上げる次第である。

岩 永 哲 夫 石 川 悦 雄
菅 付 和 樹 長 友 郁 子 (以上宮崎県文化課)
野 間 重 孝 (宮崎市管財課)
山 下 秀 樹 (京都文化博物館)
小 畑 弘 己 (福岡市埋蔵文化財センター)
宮 田 剛 (九州大学院生) (敬称略)

(注1) 松藤和人氏が「南九州における蛤良Tn火山灰直後の石器群の評価をめぐって」『考古学与生活文化』(同志社大学考古学シリーズ刊行会 1992年)の中で「分厚な横長剥片あるいは幅広い剥片を素材とし、刃縁と器身の長軸とが45度前後で交わり、背部を腹面部からの急角度の剥離で調整するとともに、その反対側の基部に連なる短辺を内湾状に整形した背付き石器」を狸谷遺跡にちなんで提唱されたものである。

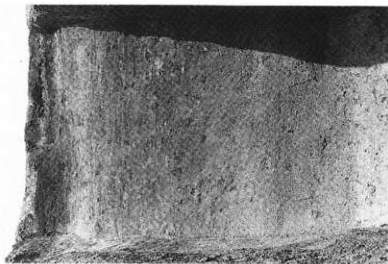
【参考文献】

- 橘 呂信 「宮崎県船野遺跡における細石器文化」考古学論叢3 1975年
「芳ヶ迫第1遺跡」田野町文化財調査報告書第1集 田野町教育委員会 1984年
「常地西遺跡」宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書第2集 宮崎県教育委員会 1985年
「赤木遺跡発掘調査概要報告」延岡市文化財調査報告書Ⅲ 延岡市教育委員会 1987年
「五馬大坪遺跡 大分県日田郡天瀬町五馬所在遺跡の発掘調査報告書」天瀬町教育委員会 1989年
「金剛寺原第1遺跡・金剛寺原第2遺跡」宮崎市教育委員会 1990年

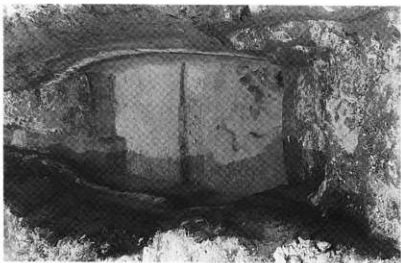




図版 1
垂水第 1 遺跡調査風景



図版 2
垂水第 1 遺跡土層断面



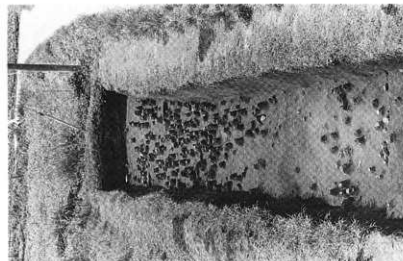
図版 3
W-1 グリッド



図版4
W-5グリッド
石雜出土状況



図版5
W-6グリッド
水没風景



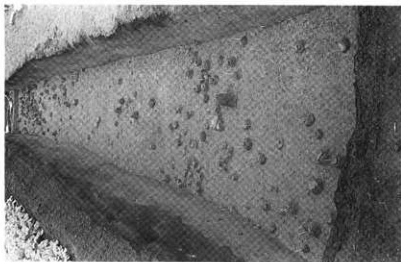
図版6
E-2グリッド
(南側より)



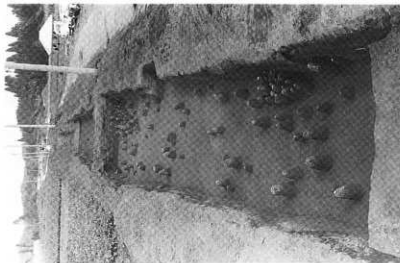
図版 7
E-2グリッド
石器群出土状況



図版 8
E-2グリッド
ナイフ形石器出土状況



図版 9
W-10グリッド
(南側より)



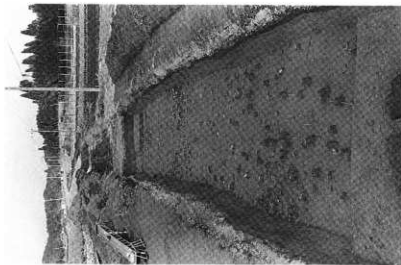
図版10
W-11グリッド
(北側より)



図版11
W-11グリッド
石器群出土状況



図版12
W-11グリッド
ナイフ形石器出土状況



図版13
M-1グリッド
(南側より)



図版14
M-1グリッド
石器群出土状況



図版15
M-1グリッド
角錐状石器出土状況



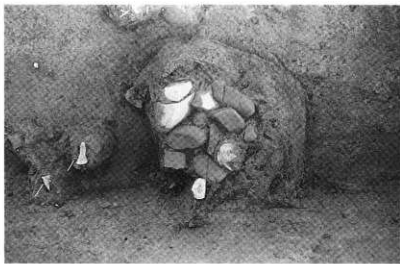
図版16
M-1グリッド
使用痕剥片出土状況



図版17
E-2グリッド
礫石遺構検出状況



図版18
M-1グリッド
1号礫石遺構検出状況



図版19
M-1グリッド
2号集石遺構検出状況



図版20
M-1グリッド
3号集石遺構検出状況



図版21
M-1グリッド
4号集石遺構検出状況



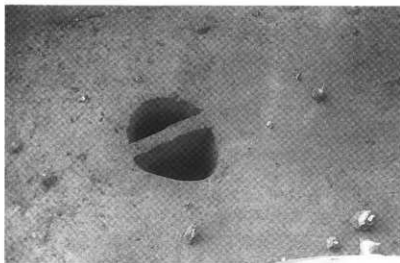
図版22
M-1グリッド
5号集石遺構検出状況



図版23
M-1グリッド
6号集石遺構検出状況



図版24
W-10グリッド
竪穴状遺構検出状況



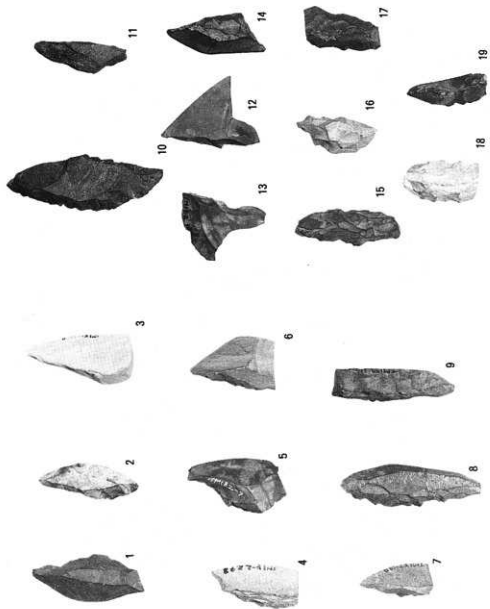
図版25
M-1グリッド
竪穴状遺構検出状況



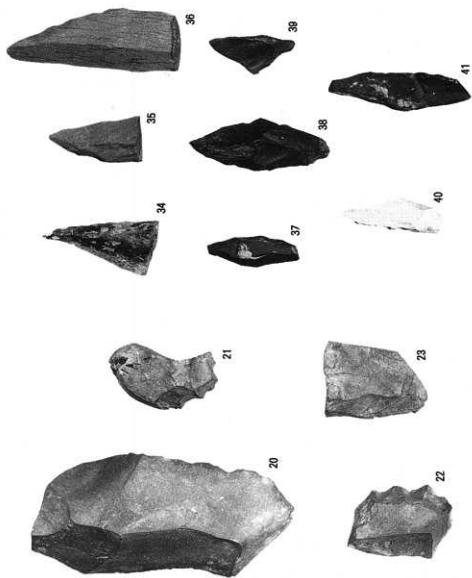
図版26
M-1グリッド
竪穴状遺構断面土層



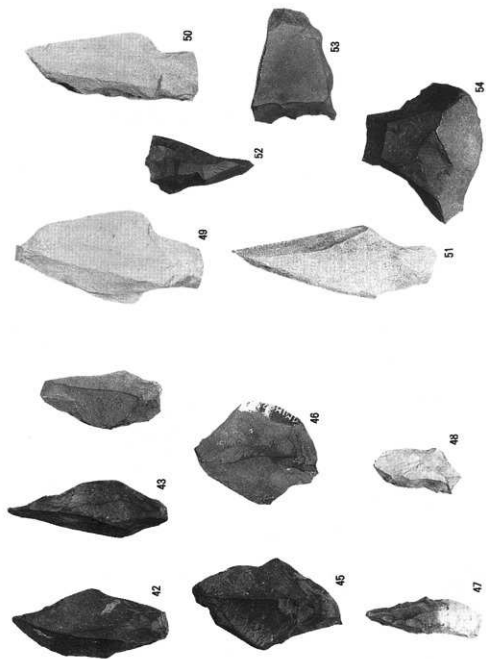
図版27
M-1グリッド
竪穴状遺構断面状況



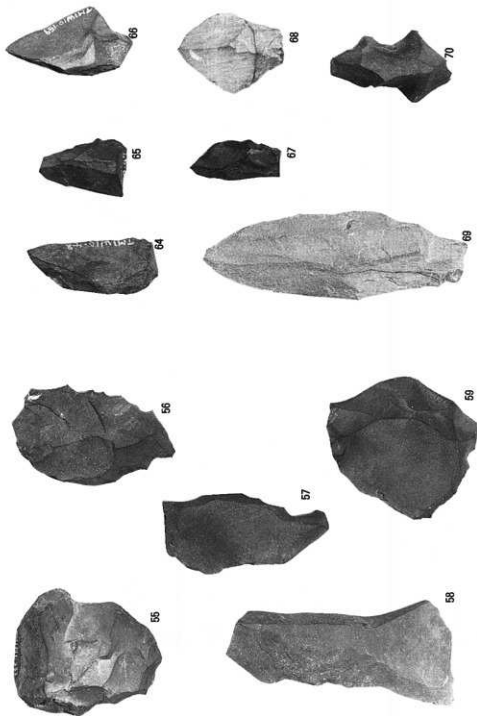
図版28 E-2グリッド 出土遺物



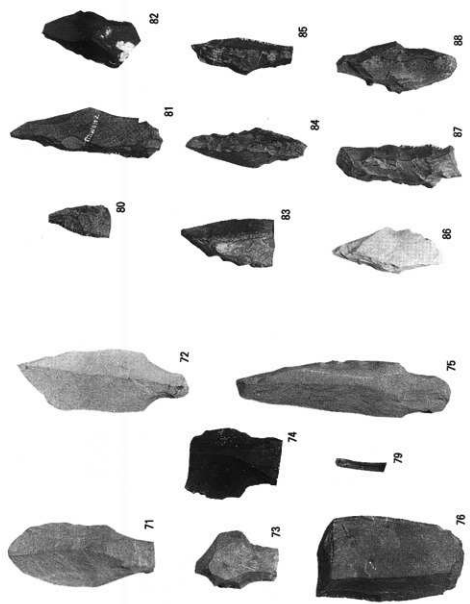
図版29 E-2・M-1グリッド 出土遺物



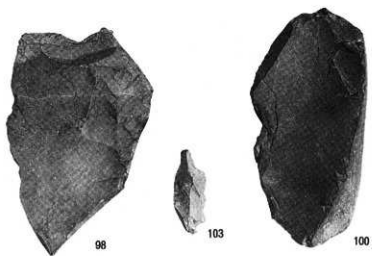
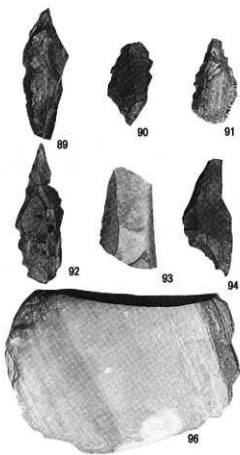
図版30 M-1グリッド 出土遺物



図版31 M-1・W-10グリッド 出土遺物



図版32 W-10・W-11グリッド 出土遺物



図版33 W-11・E-1・W-5グリッド 出土遺物



A

108

9



B



117



82



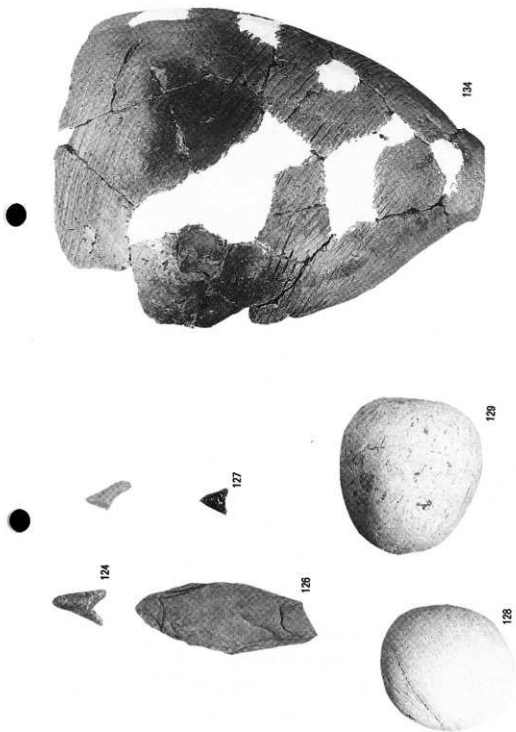
C



D



图版34 接合資料



圖版35 繩文・歷史時代遺物

垂水第1遺跡

市道久保垂水線改良工事に伴う
発掘調査報告書

平成6年3月

発行 宮崎市教育委員会

印刷 宮崎紙工印刷株式会社